

ii. 子育てに関するアンケート調査

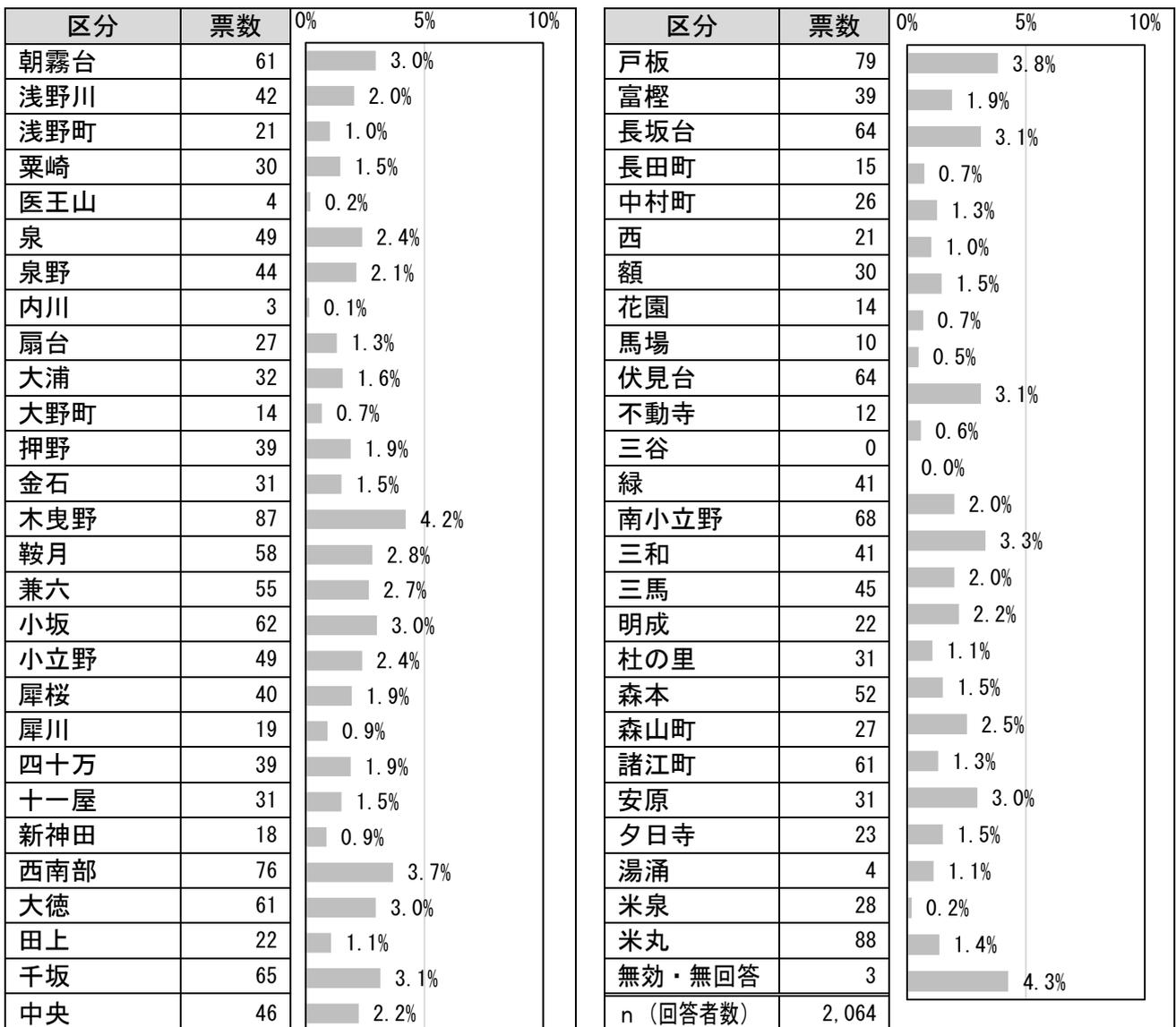
《対象：小学生の保護者》

1 回答者の住まい

(1)お住まいの小学校区(単一回答)

問1 お住まいの小学校区(校下)名(お送りした封筒の住所の上に記載してあります)を教えてください。あてはまるもの1つをお選びください。※小学校区は50音順に並んでいます。

・「木曳野」校区が4.2%、「戸板」校区が3.8%などとなっています。



2 回答者の属性

(1)対象の子どもの学年(単一回答)

問2 あて名のお子さんの学年をお答えください。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・それぞれの学年の割合は約15~18%の間となっています。5年生は15.8%、6年生は14.9%と高学年はやや少なくなっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1年生	354						
2年生	369						
3年生	347						
4年生	356						
5年生	327						
6年生	308						
無効・無回答	3						
n (回答者数)	2,064						

(2)子どもの人数(単一回答)

問3 あて名のお子さんの兄弟姉妹は何人いますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。また、2人以上のお子さんがある場合は、末子の生年月をお答えください。

- ・兄弟姉妹の人数を尋ねたところ、「2人」との回答が48.0%と最も多くなっています。次いで「1人」との回答は24.8%となっています。
- ・末子年齢は「8～9歳」との回答が最も多く25.0%となりました。

兄弟姉妹の人数

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1人	511	24.8%					
2人	991	48.0%					
3人	458	22.2%					
4人	82	4.0%					
5人以上	20	1.0%					
無効・無回答	2	0.1%					
n (回答者数)	2,064						

末子の年齢

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1歳以下	92	5.9%					
2～3歳	99	6.4%					
4～5歳	246	15.9%					
6～7歳	324	20.9%					
8～9歳	387	25.0%					
10～11歳	288	18.6%					
12歳	98	6.3%					
無効・無回答	17	1.1%					
n (回答者数)	1,551						

(3)調査票の回答者(単一回答)

問4 アンケートの記入者はどなたですか。あてはまるもの1つをお選びください。(続柄はあて名のお子さんからみた関係です)

・調査票の回答者は87.4%が「母親」と回答しているのに対して、父親は12.5%となりました。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
母親	1,803	87.4%					
父親	258	12.5%					
その他	1	0.0%					
無効・無回答	2	0.1%					
n (回答者数)	2,064						

(4)調査票の回答者の配偶関係の有無(単一回答)

問5 アンケートの記入者の配偶関係をお答えください。あてはまるもの1つをお選びください。

・94.3%は「配偶者・パートナーがいる」と回答しており、「配偶者・パートナーはいない」との回答は5.6%でした。

・就学前児童の「配偶者・パートナーがいる」(97.2%)と比べると、やや少なくなっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
配偶者・パートナーがいる	1,946	94.3%					
配偶者・パートナーはいない	115	5.6%					
無効・無回答	3	0.1%					
n (回答者数)	2,064						

(5)子育てを主に行っている方(単一回答)

問6 あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまるもの1つをお選びください。(続柄はあて名のお子さんからみた関係です)

・子育てを主に行っている方を尋ねたところ、「父母ともに」との回答が64.8%、「主に母親」との回答は33.3%でした。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
父母ともに	1,337	64.8%					
主に母親	687	33.3%					
主に父親	23	1.1%					
主に祖父母	11	0.5%					
その他	4	0.2%					
無効・無回答	2	0.1%					
n (回答者数)	2,064						

3 保護者の就労状況

(1)保護者の現在の就労状況(単一回答)

問7 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。

【母親】

(1) 母親について あてはまるもの1つをお選びください。（父子家庭の場合は記入不要です。）

※フルタイムは1週5日・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等はフルタイム以外の就労です。

- ・母親の就労状況を見ると、「フルタイム(就労中)」が43.0%、「パート・アルバイト等(就労中)」が42.5%、となっており、フルタイムの就労が、パート・アルバイトなどでの就労を上回っています。
- ・就学前児童では「フルタイム(就労中・休業中)」で57.2%でしたが、小学生では14ポイント程度少なくなっています。
- ・一方、「無職(就労経験あり)」との回答は就学前児童の15.3%から10.7%に下がっています。

母親の就労状況(単一回答)

区分		票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
フルタイム	就労中	887	43.0%					
	休業中	29	1.4%					
パート・アルバイト等	就労中	877	42.5%					
	休業中	16	0.8%					
無職	就労経験あり	220	10.7%					
	就労経験なし	16	0.8%					
無効・無回答		19	0.9%					
n (回答者数)		2,064						

学年別×母親の就労状況

・学年別に母親の就労状況を見ていくと、1年生・2年生の母親は他の学年に比べて、「フルタイム(就労中)」の割合が若干低くなっています。

上段：票数 下段：割合	母親の就労状況						
	n (回答者数)	フルタイム (就労中)	フルタイム (休業中)	パート・ア ルバイト等 (就労中)	パート・ア ルバイト等 (休業中)	無職 (就労経験 あり)	無職 (就労経験 なし)
全体	2,064	887	29	877	16	220	16
	100.0%	43.0%	1.4%	42.5%	0.8%	10.7%	0.8%
1年生	354	146	15	134	2	54	2
	100.0%	41.2%	4.2%	37.9%	0.6%	15.3%	0.6%
2年生	369	154	4	159	3	42	3
	100.0%	41.7%	1.1%	43.1%	0.8%	11.4%	0.8%
3年生	347	153	4	147	4	36	2
	100.0%	44.1%	1.2%	42.4%	1.2%	10.4%	0.6%
4年生	356	154	3	156	3	33	3
	100.0%	43.3%	0.8%	43.8%	0.8%	9.3%	0.8%
5年生	327	150	0	136	3	28	3
	100.0%	45.9%	0.0%	41.6%	0.9%	8.6%	0.9%
6年生	308	130	3	143	1	27	3
	100.0%	42.2%	1.0%	46.4%	0.3%	8.8%	1.0%
無効・無回答	3	0	0	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%

問 7(1)母親で「1～4」(就労している)を選んだ方

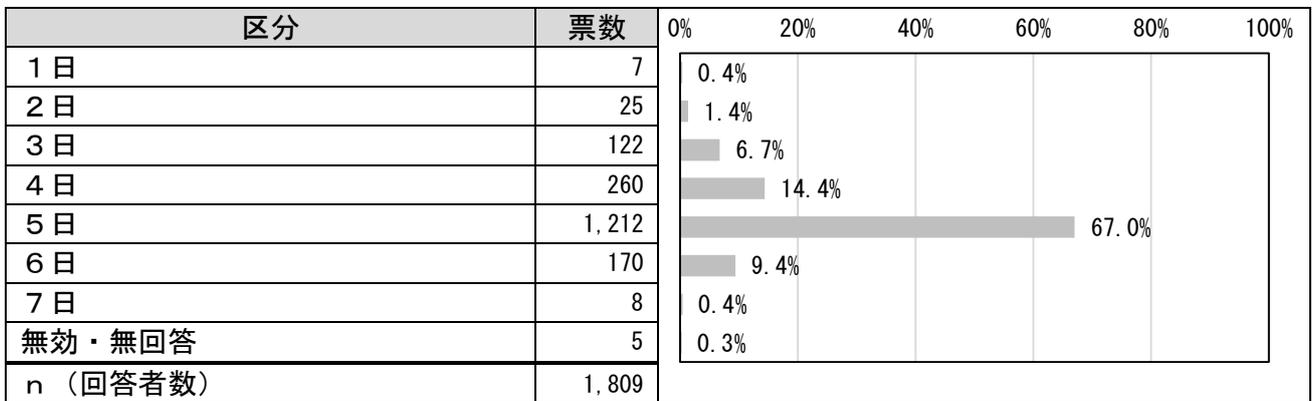
(1) - 1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、家を出る時間、帰宅時間をお答えください。また、就労日に土曜日、日曜日・祝日が含まれる場合は、あてはまるものをお選びください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて記入してください。

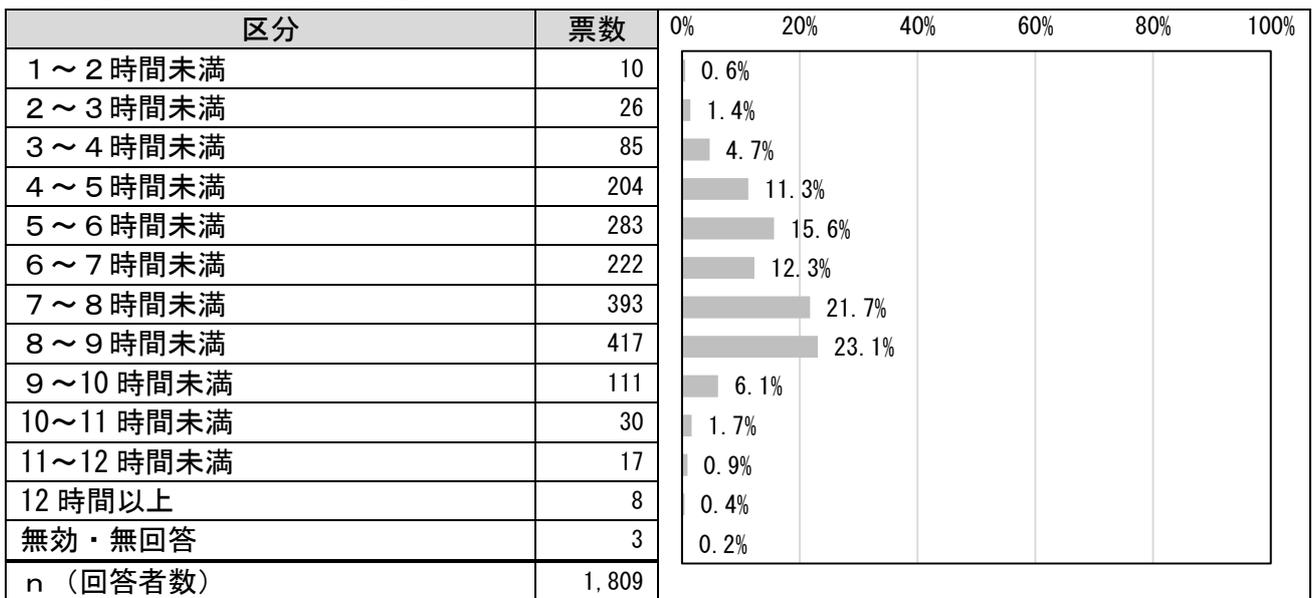
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について記入してください。

- ・ 1週間あたりの就労日数で最も多い回答は「5日」の67.0%となります。また、1日あたり就労時間で最も多い回答は「8～9時間」の23.1%となります。
- ・ 土曜日に就労しているとの回答は34.3%、日曜・祝日も19.8%ありました。
- ・ 家を出る時間は「8時台」、帰宅時間は「18時台」という回答が最も多くなっています。

1週間あたりの就労日数(単一回答)



1日あたりの就労時間(単一回答)



就労日(複数回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
平日	1,797						
土曜日	620						
日曜日・祝日	359						
無効・無回答	2						
n (回答者数)	1,809						

家を出る時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
0時台	4	0.2%		
1時台	1	0.1%		
2時台	2	0.1%		
3時台	1	0.1%		
4時台	3	0.2%		
5時台	8	0.4%		
6時台	28	1.5%		
7時台	678		37.5%	
8時台	769		42.5%	
9時台	203		11.2%	
10時台	52		2.9%	
11時台	13		0.7%	
12時台	8		0.4%	
13時台	1		0.1%	
14時台	1		0.1%	
15時台	3		0.2%	
16時台	4		0.2%	
17時台	1		0.1%	
18時台	1		0.1%	
19時台	1		0.1%	
20時台	1		0.1%	
21時台	0		0.0%	
22時台	0		0.0%	
23時台	1		0.1%	
無効・無回答	25		1.4%	
n (回答者数)	1,809			

帰宅時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
0時台	3	0.2%		
1時台	15	0.8%		
2時台	38	2.1%		
3時台	76	4.2%		
4時台	95	5.3%		
5時台	134	7.4%		
6時台	148	8.2%		
7時台	64	3.5%		
8時台	24	1.3%		
9時台	6	0.3%		
10時台	7	0.4%		
11時台	8	0.4%		
12時台	32	1.8%		
13時台	59	3.3%		
14時台	99	5.5%		
15時台	104	5.7%		
16時台	171	9.5%		
17時台	277	15.3%		
18時台	324	17.9%		
19時台	79	4.4%		
20時台	12	0.7%		
21時台	5	0.3%		
22時台	4	0.2%		
23時台	1	0.1%		
無効・無回答	24	1.3%		
n (回答者数)	1,809			

【父親】

(2) 父親について あてはまるもの1つをお選びください。(母子家庭の場合は記入不要です。)

※フルタイムは1週5日・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等はフルタイム以外の就労です。

・父親の就労状況をみると「フルタイムで就労中」との回答が93.5%と有効回答のほとんどを占めました。

父親の就労状況(単一回答)

区分		票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
フルタイム	就労中	1,929						
	休業中	3						
パート・アルバイト等	就労中	14						
	休業中	0						
無職	就労経験あり	14						
	就労経験なし	0						
無効・無回答		104						
n (回答者数)		2,064						

問 7(2)父親で「1~4」(就労している)を選んだ方

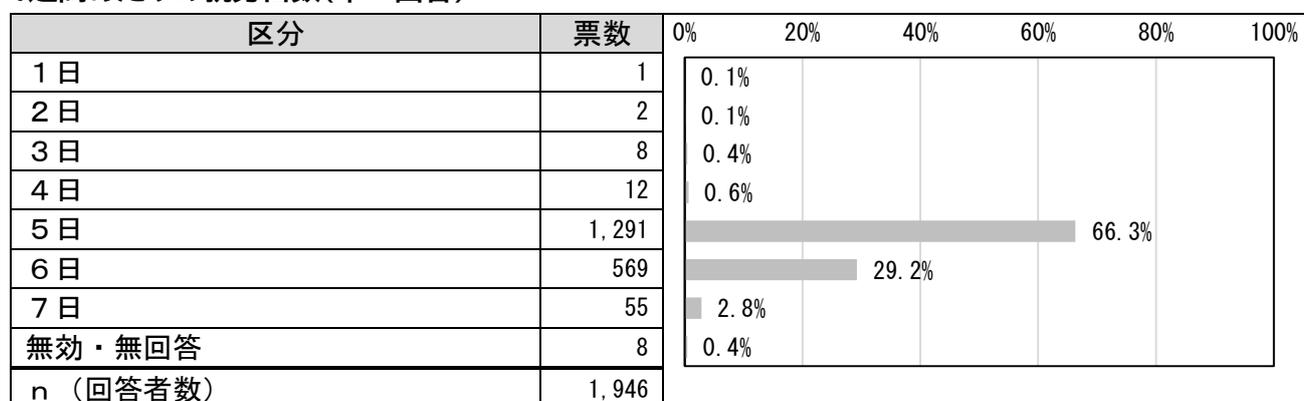
(2) - 1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、家を出る時間、帰宅時間をお答えください。また、就労日に土曜日、日曜日・祝日が含まれる場合は、あてはまるものをお選びください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて記入してください。

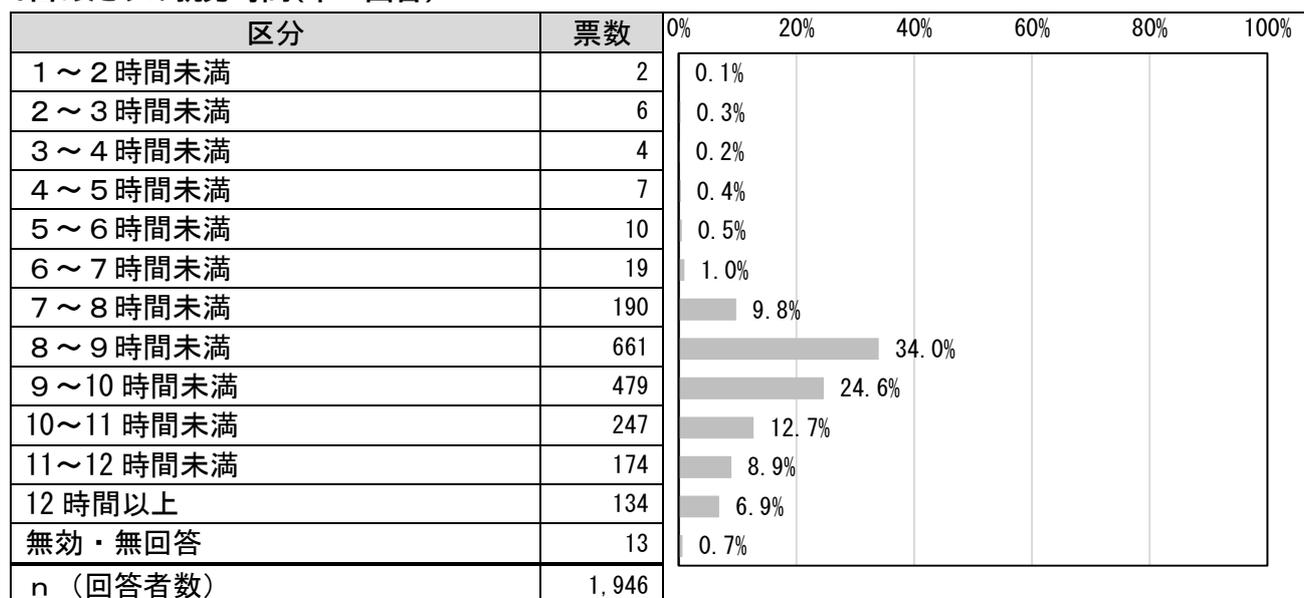
※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について記入してください。

- ・1週間あたりの就労日数で最も多い回答は、「5日」の66.3%になります。また、1日あたりの就労時間では「8~9時間」の34.0%となります。
- ・土曜日に就労しているとの回答は、52.0%、日曜・祝日も28.2%あります。
- ・「7時台」に家を出て「19時台」に帰宅するという回答が最も多くなっています。

1週間あたりの就労日数(単一回答)



1日あたりの就労時間(単一回答)



就労日(複数回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
平日	1,915							98.4%
土曜日	1,011							52.0%
日曜日・祝日	549							28.2%
無効・無回答	15							0.8%
n(回答者数)	1,946							

家を出る時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
0時台	6	0.3%		
1時台	6	0.3%		
2時台	3	0.2%		
3時台	4	0.2%		
4時台	9	0.5%		
5時台	50	2.6%		
6時台	330	17.0%		
7時台	916	47.1%		
8時台	455	23.4%		
9時台	77	4.0%		
10時台	28	1.4%		
11時台	5	0.3%		
12時台	1	0.1%		
13時台	1	0.1%		
14時台	7	0.4%		
15時台	2	0.1%		
16時台	4	0.2%		
17時台	0	0.0%		
18時台	0	0.0%		
19時台	1	0.1%		
20時台	4	0.2%		
21時台	2	0.1%		
22時台	1	0.1%		
23時台	3	0.2%		
無効・無回答	31	1.6%		
n(回答者数)	1,946			

帰宅時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
0時台	14	0.7%		
1時台	4	0.2%		
2時台	6	0.3%		
3時台	9	0.5%		
4時台	9	0.5%		
5時台	54	2.8%		
6時台	154	7.9%		
7時台	206	10.6%		
8時台	159	8.2%		
9時台	111	5.7%		
10時台	45	2.3%		
11時台	19	1.0%		
12時台	11	0.6%		
13時台	3	0.2%		
14時台	2	0.1%		
15時台	7	0.4%		
16時台	20	1.0%		
17時台	100	5.1%		
18時台	277	14.2%		
19時台	301	15.5%		
20時台	221	11.4%		
21時台	100	5.1%		
22時台	52	2.7%		
23時台	29	1.5%		
無効・無回答	33	1.7%		
n(回答者数)	1,946			

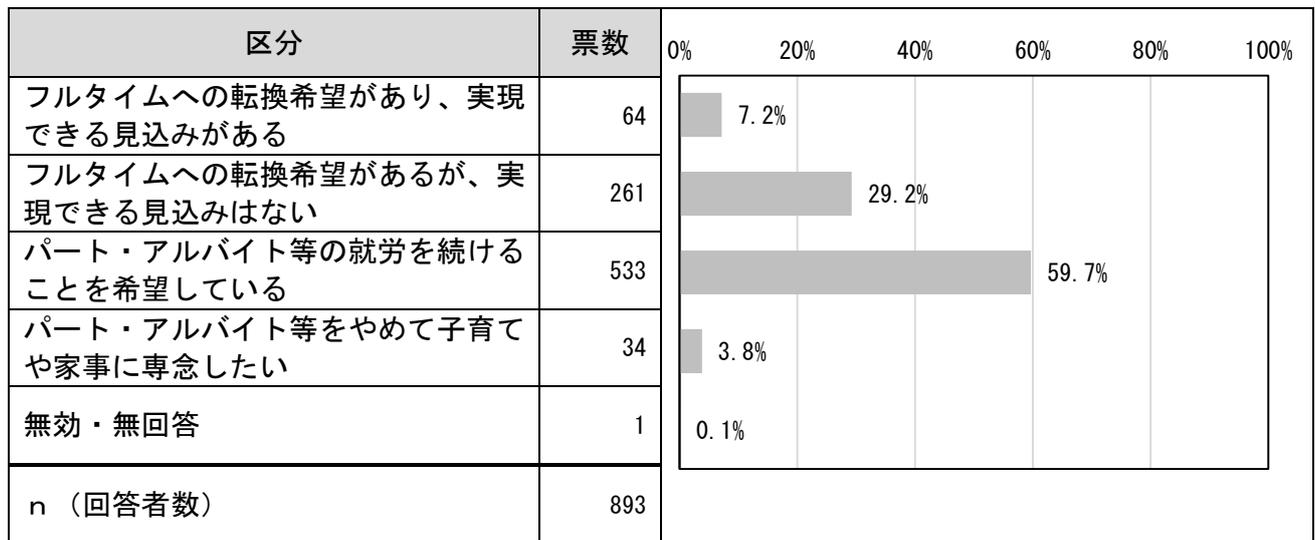
(2)パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望

問 7 の(1)母親または(2)父親で「3~4」(パート・アルバイト等で就労している)を選んだ方

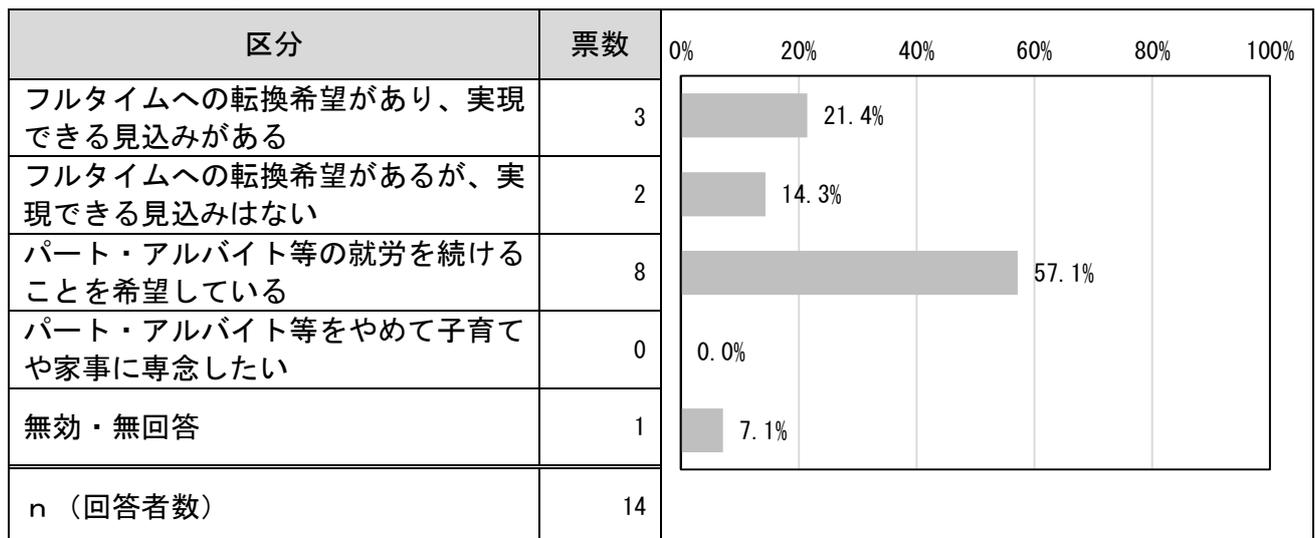
問 8 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が59.7%と最も高くなっています。
- ・サンプル数は少ないですが、父親も「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多くなっています。

(1)母親(単一回答)



(2)父親(単一回答)



(3)現在就労していない方の就労希望

問7の(1)母親または(2)父親で「5・6」(就労していない)を選んだ方

問9 就労したいという希望はありますか。あてはまるものそれぞれ1つをお選びください。

(1)母親

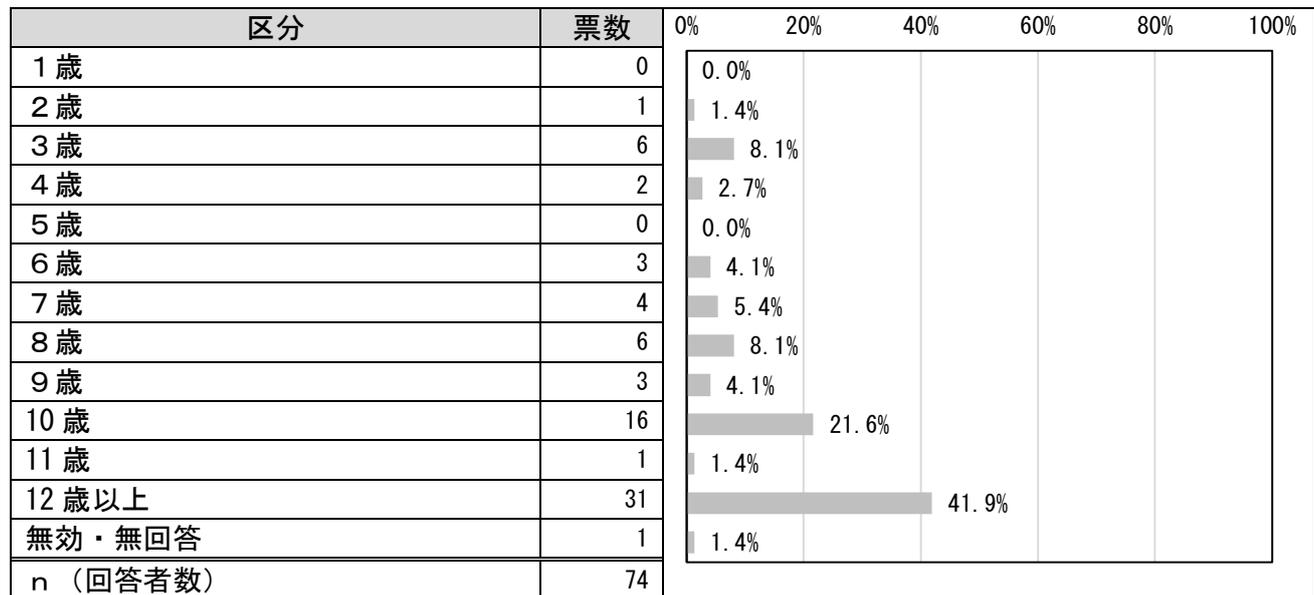
- ・現在就労していない方の就労希望についてみると、母親では「子育てや家事などに専念したい」が35.6%と最も高くなっています。
- ・「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方の希望する就労形態については、母親では「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）」が78.1%と最も高くなっています。
- ・就労時の末子の年齢については「12歳以上」との回答が最も多くなっています。
- ・また、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）」を選んだ方の希望する1週間あたりの就労日数については、母親では「3日」（38.6%）の割合が最も高く、次いで「4日」（33.3%）となっています。
- ・希望する1日あたりの就労時間では、母親では「4～5時間未満」（47.4%）の割合が最も高くなっています。

母親の就労希望(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	84	35.6%					
1年より先、一番下の子どもが次の年齢になったころに就労したい	74	31.4%					
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	73	30.9%					
無効・無回答	5	2.1%					
n（回答者数）	236						

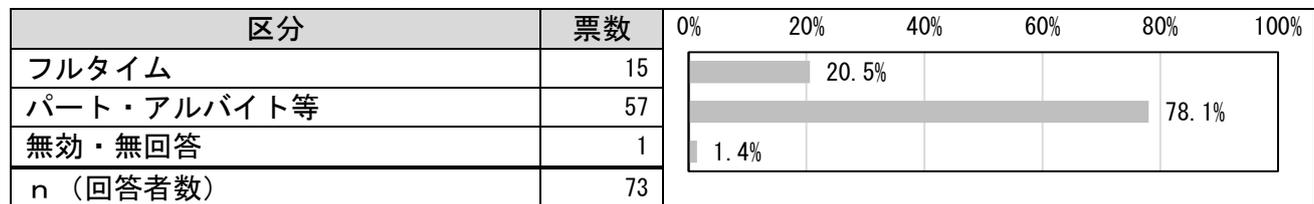
問9で「2. 1年より先、一番下の子どもが次の年齢になったときに就労したい」を選んだ方

就労時の子どもの年齢(単一回答)



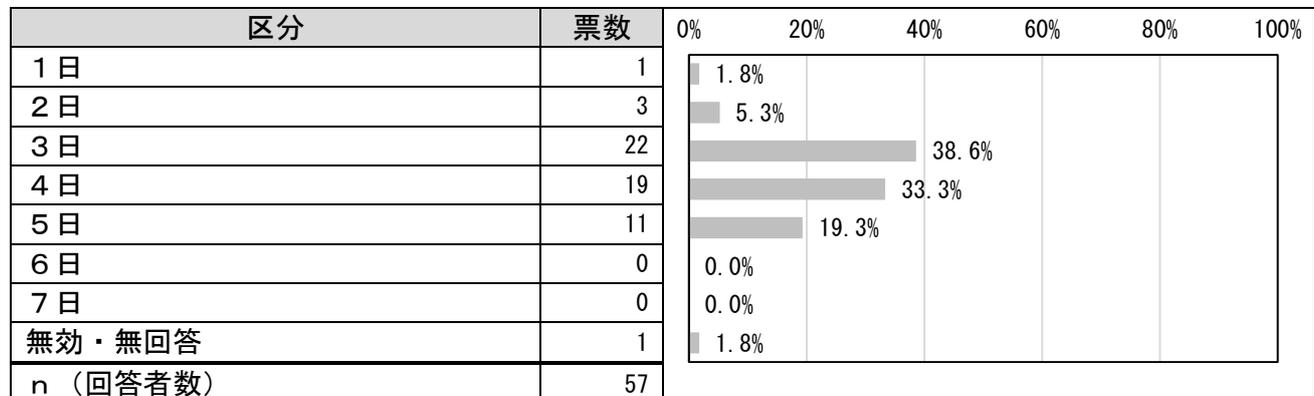
問9で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

希望する就労の形態(単一回答)

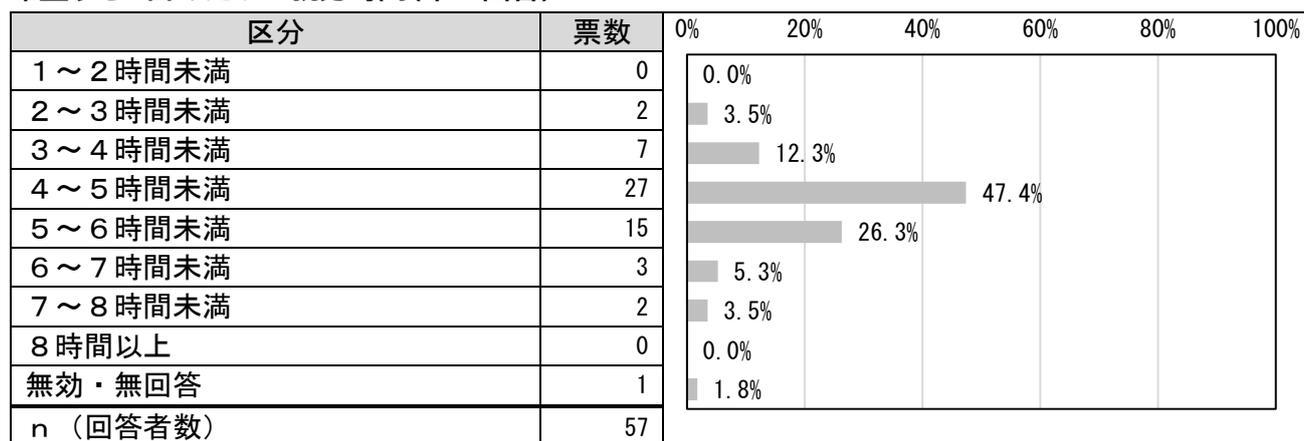


希望する就労の形態で「イ. パート・アルバイト等(「ア. フルタイム」以外)」を選んだ方

希望する1週間あたりの就労日数(単一回答)

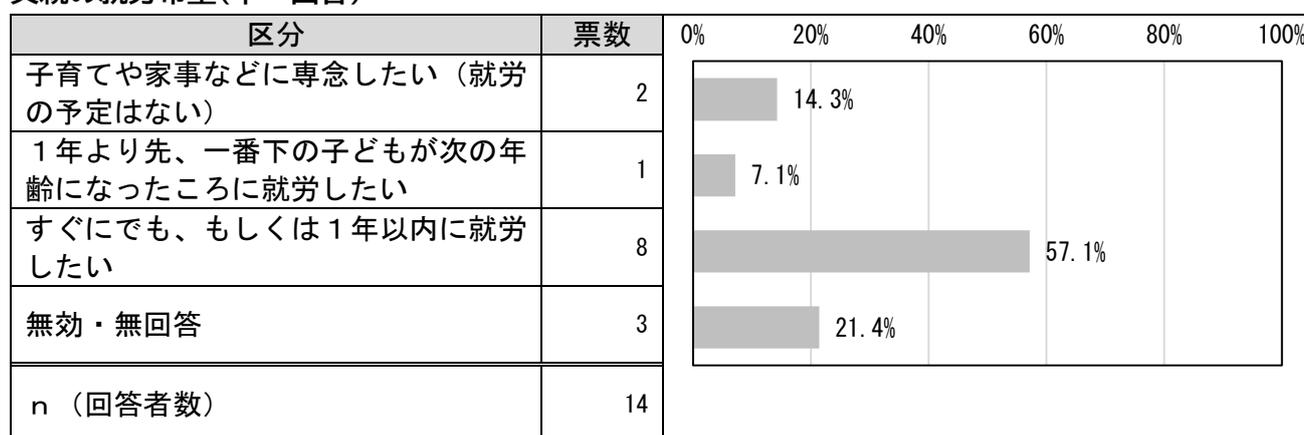


希望する1日あたりの就労時間(単一回答)



(2)父親

父親の就労希望(単一回答)



問9で「2.1年より先、一番下の子どもが次の年齢になったころに就労したい」を選んだ方

- ・有効な回答数は1人で、12歳以上と回答していました。

問9で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

希望する就労の形態(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
フルタイム	6	75.0%					
パート・アルバイト等	2	25.0%					
無効・無回答	0	0.0%					
n (回答者数)	8						

希望する就労の形態で「イ. パート・アルバイト等(「ア. フルタイム」以外)」を選んだ方

希望する1週間あたりの就労日数(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1日	0	0.0%					
2日	0	0.0%					
3日	0	0.0%					
4日	1	50.0%					
5日	1	50.0%					
6日	0	0.0%					
7日	0	0.0%					
無効・無回答	0	0.0%					
n (回答者数)	2						

希望する1日あたりの就労時間(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1～2時間未満	0	0.0%					
2～3時間未満	0	0.0%					
3～4時間未満	0	0.0%					
4～5時間未満	2	100.0%					
5～6時間未満	0	0.0%					
6～7時間未満	0	0.0%					
7～8時間未満	0	0.0%					
8時間以上	0	0.0%					
無効・無回答	0	0.0%					
n (回答者数)	2						

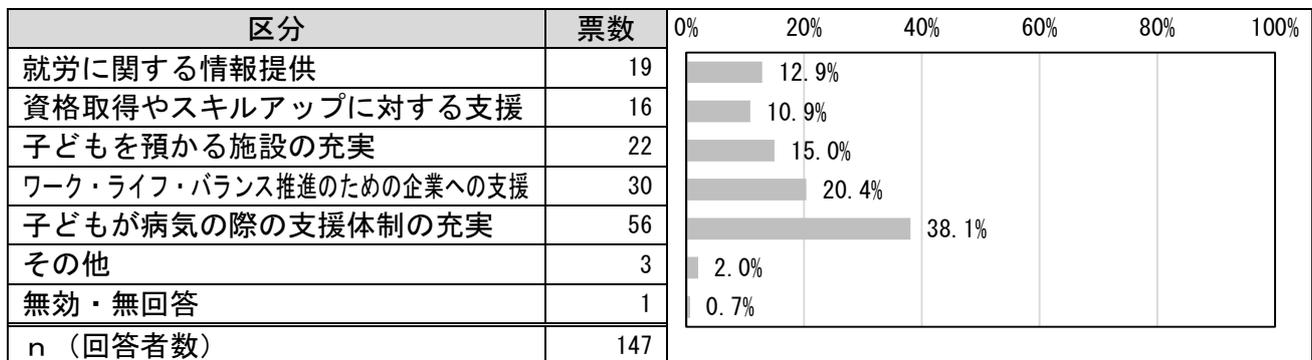
(4)就職時に必要とされる支援や対策

問9の(1)母親または(2)父親の就労希望で「2・3」(就労したい)を選んだ方

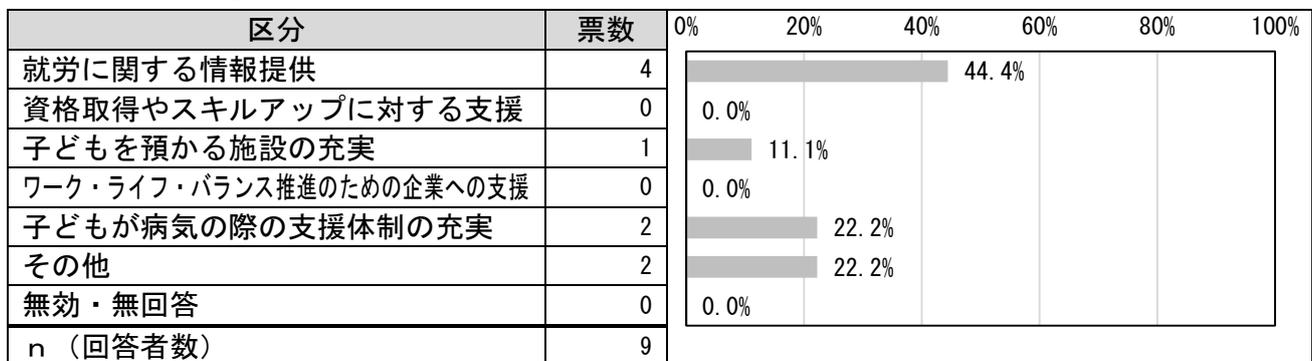
問9-1 就職または再就職するにあたって、どのような支援をもっとも必要としていますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・就職時に必要とされるの就労支援制度について尋ねたところ、母親では「子どもが病気の際の支援体制の充実」が38.1%と最も高く、ついで「ワーク・ライフ・バランス推進のための企業への支援」(20.4%)、「子どもを預かる施設の充実」(15.0%)と続きます。
- ・父親は、サンプル数が少ないですが、「就労に関する情報提供」のニーズが高くなっています。

(1)母親(単一回答)



(2)父親(単一回答)



4 放課後の過ごし方

(1)低学年(1～3年生)のうちは放課後(平日の小学校終了後)の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか(複数回答)

お子さんが小学校1～3年生の場合

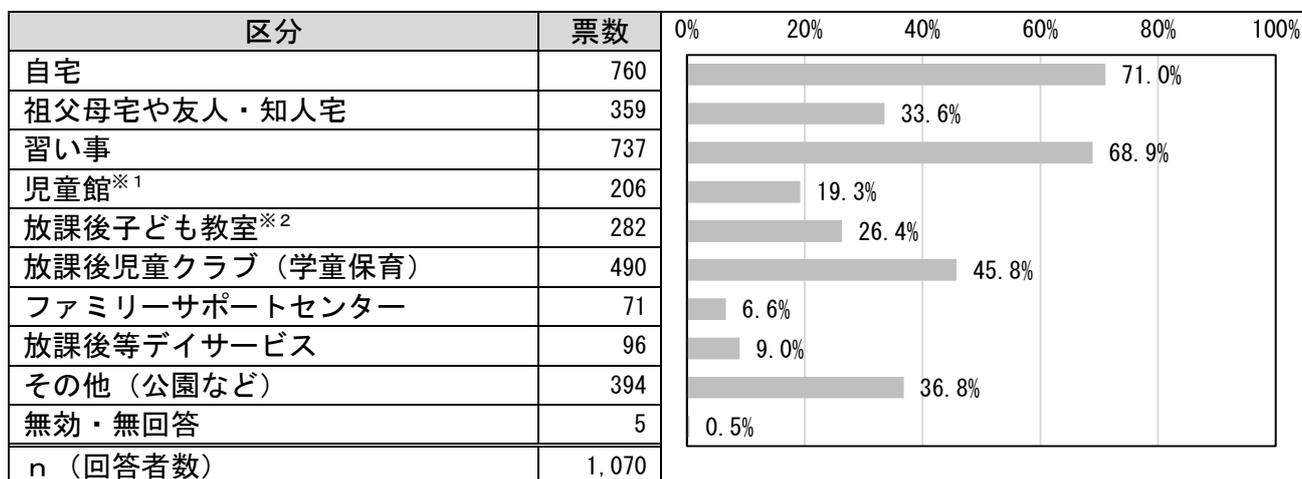
問 10 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。現在の状況が希望どおりの場合も含めて、あてはまるものすべてをお選びいただき、それぞれ希望する1週あたりの日数についてあてはまるもの1つをお選びください。また、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間についてあてはまるもの1つをお選びください。

「放課後児童クラブ」（学童保育）… 保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用には、一定の利用料が発生します。

※1 児童館で行っている放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6. 」に回答してください。

※2 地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や地域の公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組みです。（市内10公民館で実施）

- ・放課後の時間を過ごさせたいと思う場所についてみると、「自宅」が71.0%、「習い事」が68.9%とほぼ同じで、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が45.8%となっています。



1週間あたりの利用希望日数(1～3年生)

- ・小学校1～3年生の間の、週あたりの利用希望日数については、「自宅」「放課後児童クラブ（学童保育）」では「5日」の割合が最も高くなっています。
- ・「習い事」は、「2日」39.2%、「1日」33.4%、「3日」21.0%の順となっています。
- ・放課後児童クラブ（学童保育）を選んだ方の利用希望時間では、「17時台」が最も高くなっています。

自宅;1週間あたりの日数(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1日	98	12.9%					
2日	159	20.9%					
3日	144	18.9%					
4日	62	8.2%					
5日	297	39.1%					
n (回答者数)	760						

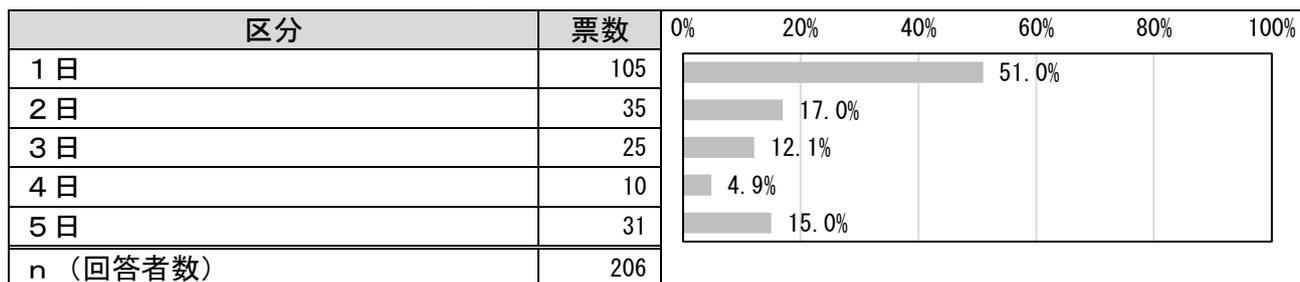
祖父母宅や友人・知人宅;1週間あたりの日数(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1日	209	58.2%					
2日	85	23.7%					
3日	30	8.4%					
4日	9	2.5%					
5日	26	7.2%					
n (回答者数)	359						

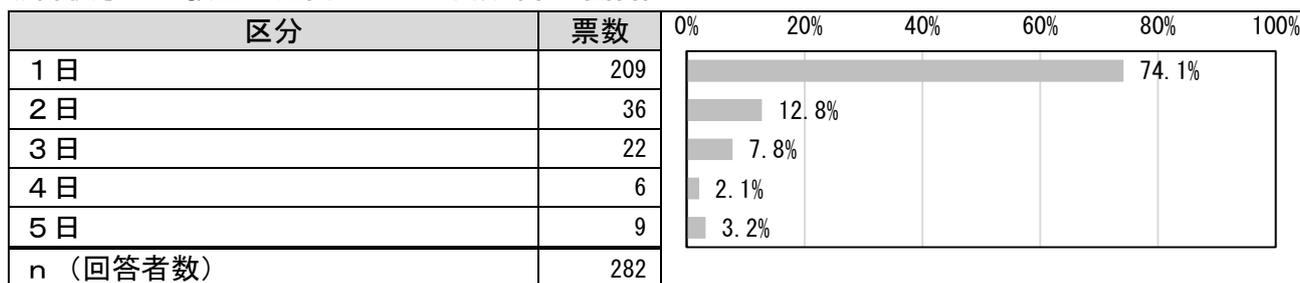
習い事;1週間あたりの日数(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1日	246	33.4%					
2日	289	39.2%					
3日	155	21.0%					
4日	31	4.2%					
5日	16	2.2%					
n (回答者数)	737						

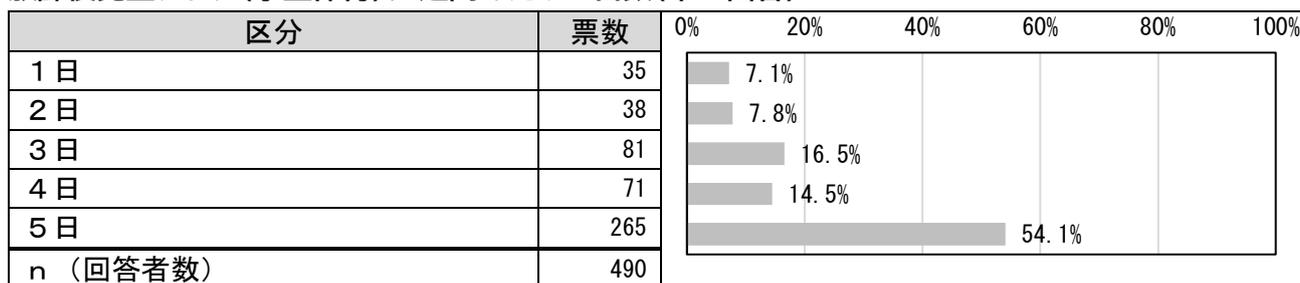
児童館;1週間あたりの日数(単一回答)



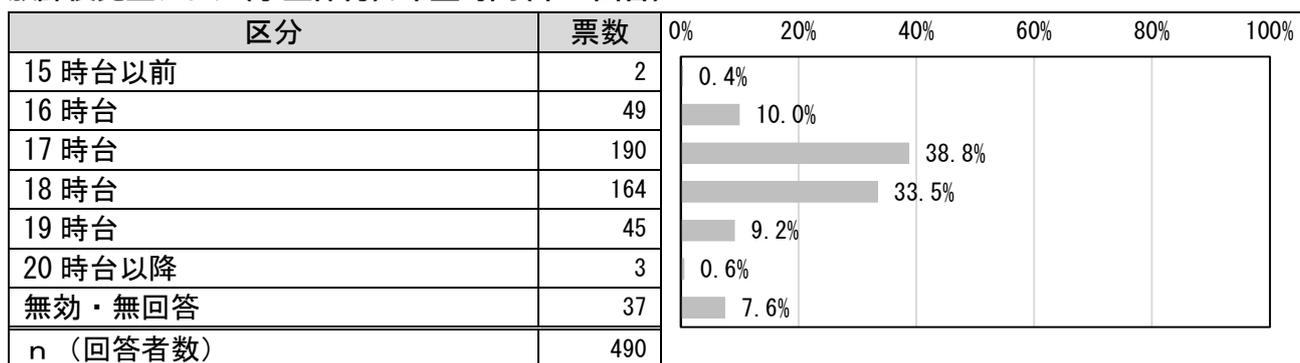
放課後子ども教室;1週間あたりの日数(単一回答)



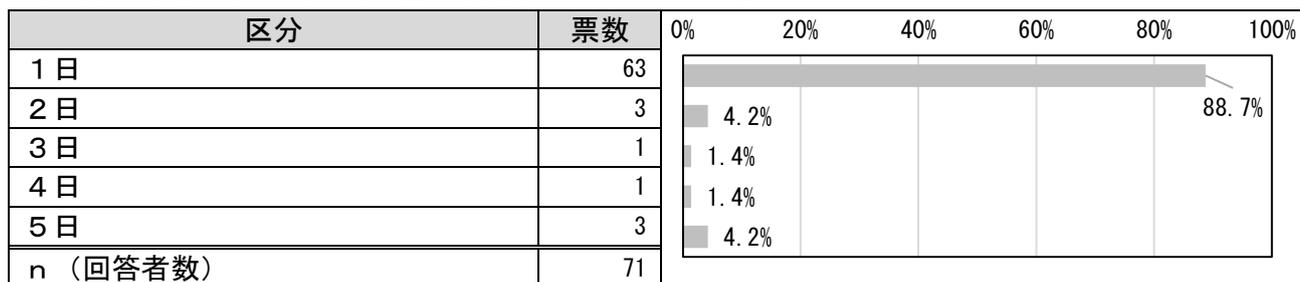
放課後児童クラブ(学童保育);1週間あたりの日数(単一回答)



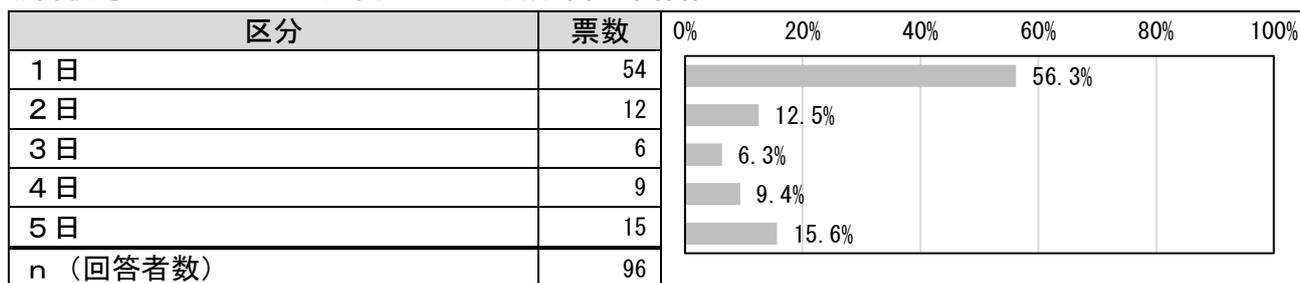
放課後児童クラブ(学童保育);希望時間(単一回答)



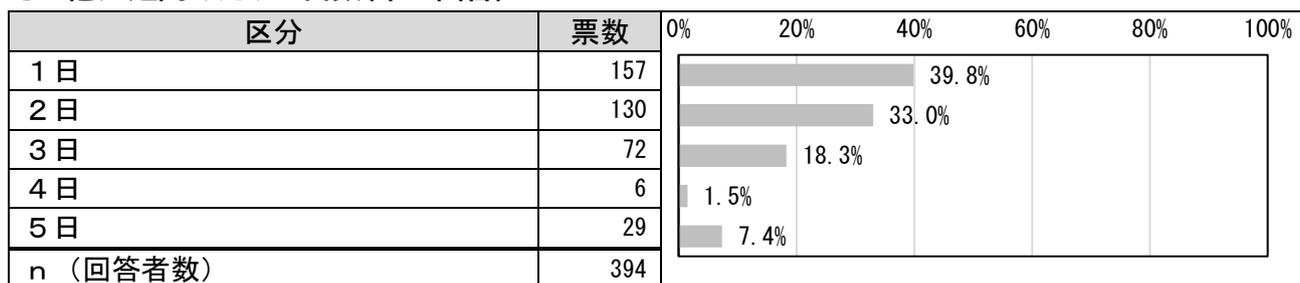
ファミリーサポートセンター;1週間あたりの日数(単一回答)



放課後等デイサービス;1週間あたりの日数(単一回答)



その他;1週間あたりの日数(単一回答)



学年別×放課後の過ごし方

- ・学年別に放課後の過ごし方の希望をみると、学年があがるにつれ、「自宅」で過ごす割合が高くなっています。
- ・「放課後児童クラブ(学童保育)」の希望の割合は、逆に学年があがるにつれ低くなっています。

上段: 票数 下段: 割合	低学年の放課後の過ごし方										
	n (回答者数)	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事	児童館	放課後こ ども教室	放課後児 童クラブ (学童保育)	ファミリー サポート センター	放課後等 デイサー ビス	その他 (公園等)	無回答
全体	1,070	760	359	737	206	282	490	71	96	394	5
	100.0%	71.0%	33.6%	68.9%	19.3%	26.4%	45.8%	6.6%	9.0%	36.8%	0.5%
1年生	354	247	101	229	86	99	191	31	34	127	0
	100.0%	69.8%	28.5%	64.7%	24.3%	28.0%	54.0%	8.8%	9.6%	35.9%	0.0%
2年生	369	259	123	248	60	91	168	18	31	132	1
	100.0%	70.2%	33.3%	67.2%	16.3%	24.7%	45.5%	4.9%	8.4%	35.8%	0.3%
3年生	347	254	135	260	60	92	131	22	31	135	4
	100.0%	73.2%	38.9%	74.9%	17.3%	26.5%	37.8%	6.3%	8.9%	38.9%	1.2%

母親就労状況別×放課後の過ごし方

- ・母親の就労状況別に放課後の過ごし方をみると、フルタイムで就労している母親の児童は「習い事」(68.2%)、「自宅」(61.6%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(61.1%)の利用希望が高くなっており、特に「自宅」はH30調査(32.6%)に比べ30ポイント近く伸びています。
- ・一方、母親が「パート・アルバイト等」、「無職」の児童は、自宅で過ごす割合が高くなっています。

上段：票数 下段：割合	低学年の放課後の過ごし方										
	n (回答者数)	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事	児童館	放課後こ ども教室	放課後児 童クラブ (学童保育)	ファミリ ーサポ ート センタ ー	放課後等 デイサー ビス	その他 (公園等)	無回答
全体	1,070	760	359	737	206	282	490	71	96	394	5
	100.0%	71.0%	33.6%	68.9%	19.3%	26.4%	45.8%	6.6%	9.0%	36.8%	0.5%
フルタイム (就労中)	453	279	148	309	90	112	277	34	41	137	0
	100.0%	61.6%	32.7%	68.2%	19.9%	24.7%	61.1%	7.5%	9.1%	30.2%	0.0%
フルタイム (休業中)	23	17	5	16	4	5	11	1	2	9	0
	100.0%	73.9%	21.7%	69.6%	17.4%	21.7%	47.8%	4.3%	8.7%	39.1%	0.0%
パート・ アルバイト等 (就労中)	440	331	150	302	77	115	171	25	34	168	4
	100.0%	75.2%	34.1%	68.6%	17.5%	26.1%	38.9%	5.7%	7.7%	38.2%	0.9%
パート・ アルバイト 等(休業中)	9	7	4	6	1	3	3	0	0	4	0
	100.0%	77.8%	44.4%	66.7%	11.1%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%
無職 (就労経験あ り)	132	115	48	97	31	43	23	9	18	69	1
	100.0%	87.1%	36.4%	73.5%	23.5%	32.6%	17.4%	6.8%	13.6%	52.3%	0.8%
無職 (就労経験な し)	7	7	3	5	2	3	2	2	1	4	0
	100.0%	100.0%	42.9%	71.4%	28.6%	42.9%	28.6%	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%
無効・無回答	6	4	1	2	1	1	3	0	0	3	0
	100.0%	66.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

(2)高学年(4～6年生)のうち放課後(平日の小学校終了後)の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか(複数回答)

問 11 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。現在の状況が希望どおりの場合も含めて、あてはまるものすべてをお選びいただき、それぞれ希望する1週あたりの日数についてあてはまるもの1つをお選びください。また、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間についてあてはまるもの1つをお選びください。

※児童館で行っている放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に回答してください。

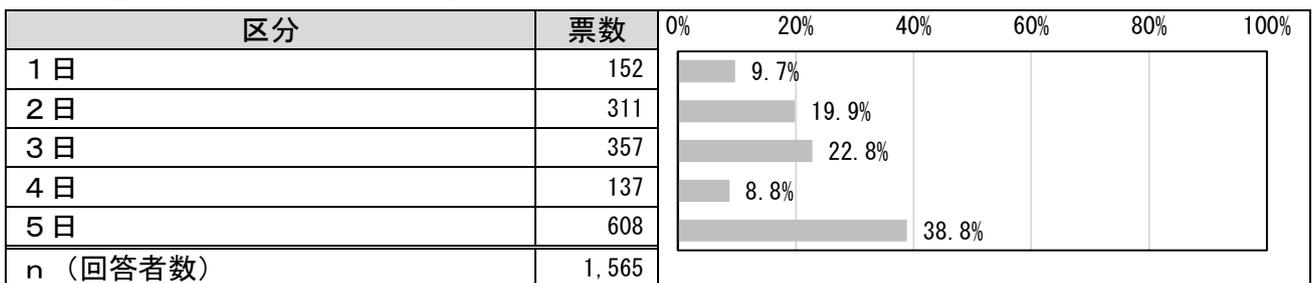
- ・高学年（4～6年生）の放課後の時間を過ごさせたいと思う場所についてみると、「自宅」が75.8%と最も高く、次いで「習い事」が66.8%となっています。「放課後児童クラブ(学童保育)」は16.1%となっており、「祖父母宅や友人・知人宅」(33.3%)、「その他（公園など）」(32.4%)よりも低い値となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
自宅	1,565	75.8%					
祖父母宅や友人・知人宅	687	33.3%					
習い事	1,378	66.8%					
児童館	285	13.8%					
放課後子ども教室	460	22.3%					
放課後児童クラブ（学童保育）	333	16.1%					
ファミリーサポートセンター	101	4.9%					
放課後等デイサービス	148	7.2%					
その他（公園など）	669	32.4%					
無効・無回答	263	12.7%					
n（回答者数）	2,064						

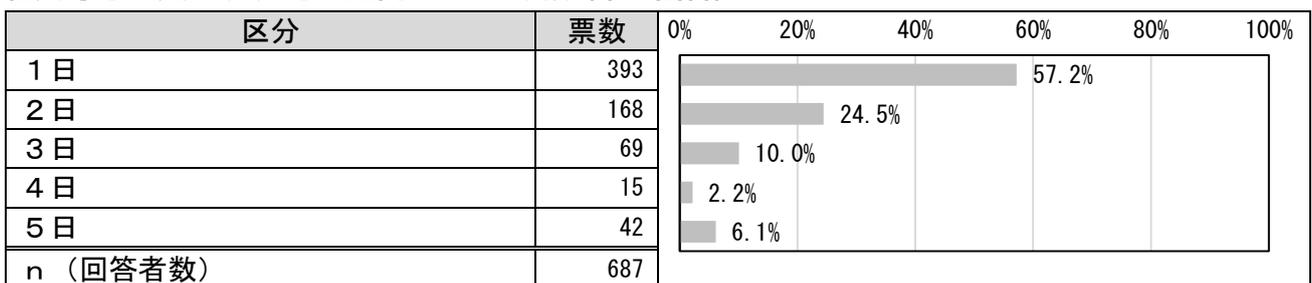
1 週間あたりの利用希望日数

- ・小学校4～6年生の間の、週あたりの利用希望日数については、「自宅」「放課後児童クラブ（学童保育）」では「5日」の割合が最も高くなっています。
- ・「習い事」は、「2日」との回答が最も多くなっています。
- ・放課後児童クラブ（学童保育）を選んだ方の利用希望時間では、「18時台」が最も高くなっています。

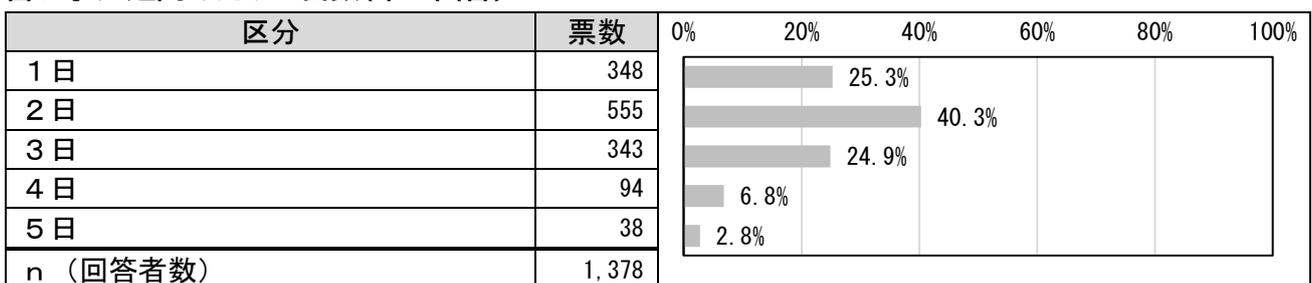
自宅;1週間あたりの日数(単一回答)



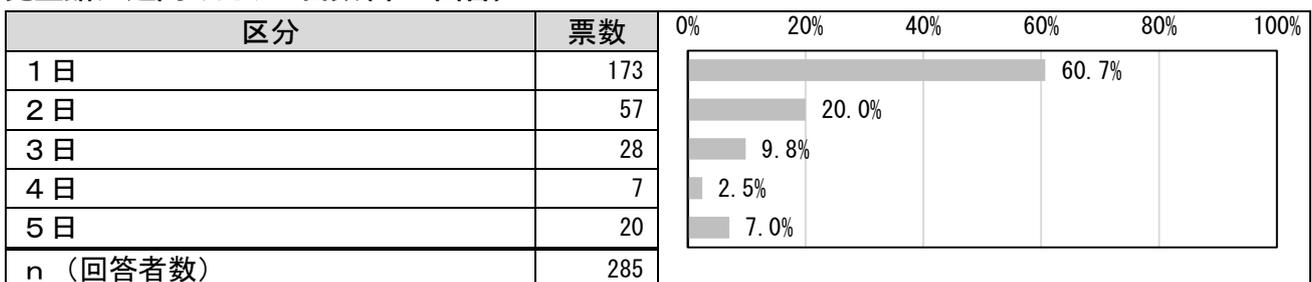
祖父母宅や友人・知人宅;1週間あたりの日数(単一回答)



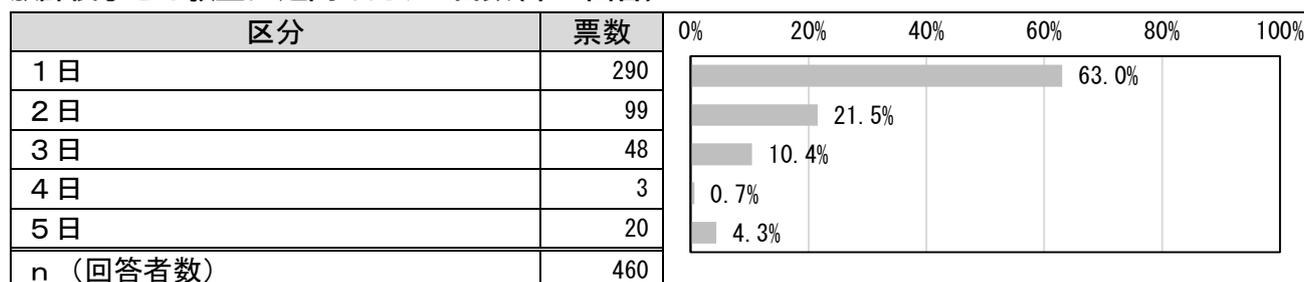
習い事;1週間あたりの日数(単一回答)



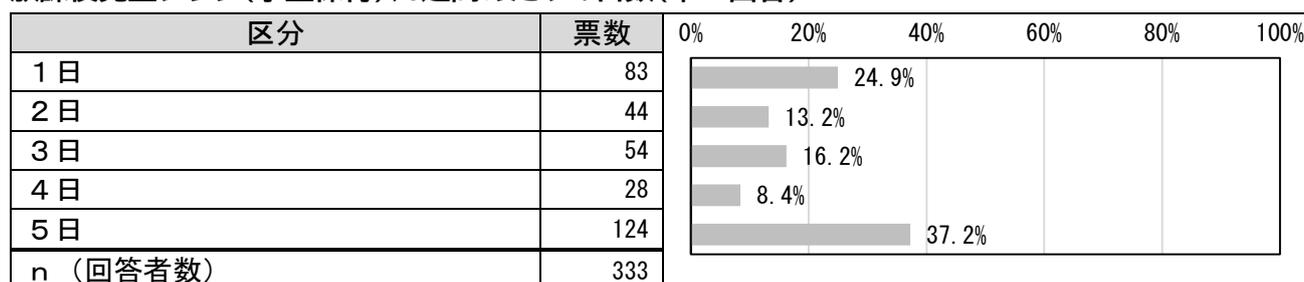
児童館;1週間あたりの日数(単一回答)



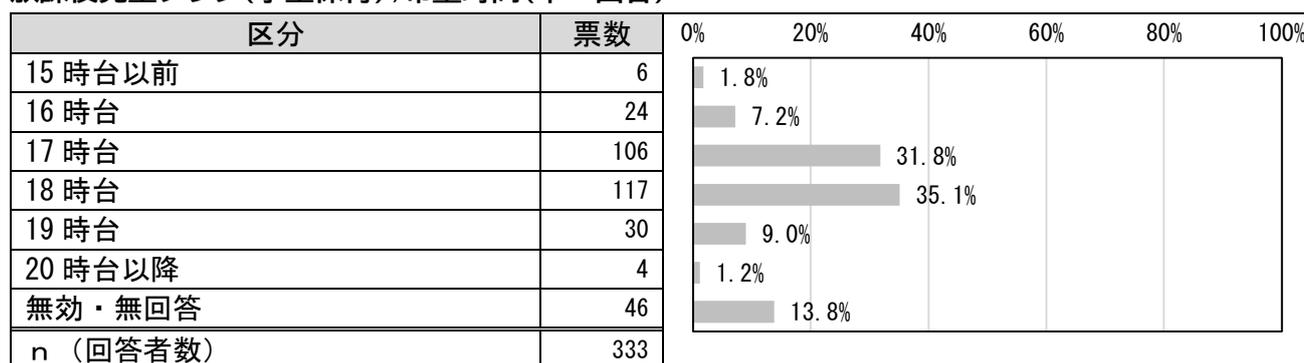
放課後子ども教室;1週間あたりの日数(単一回答)



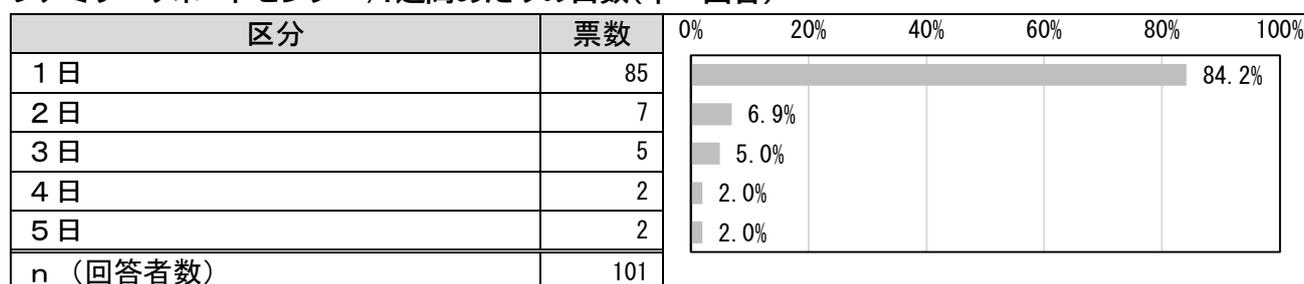
放課後児童クラブ(学童保育);1週間あたりの日数(単一回答)



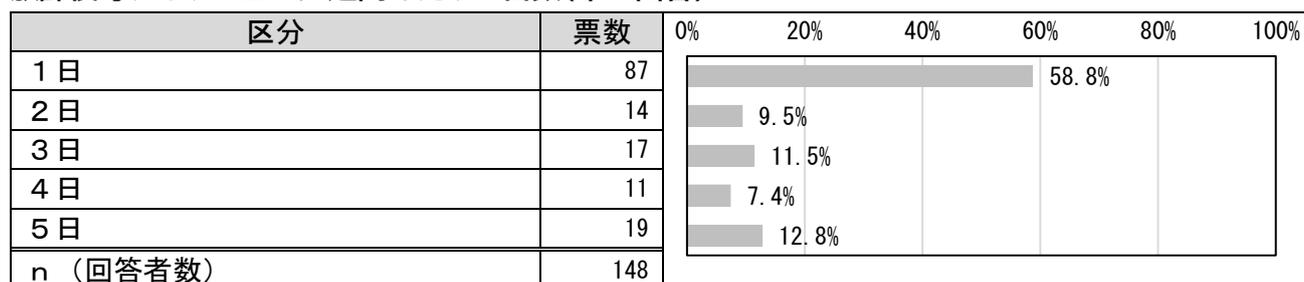
放課後児童クラブ(学童保育);希望時間(単一回答)



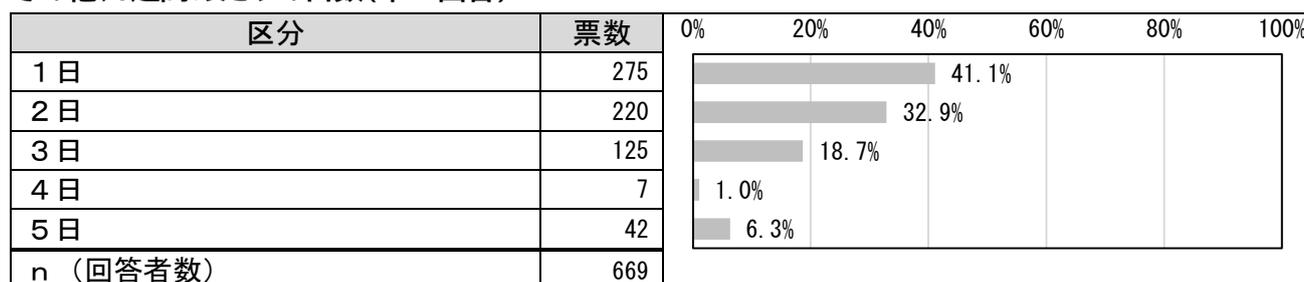
ファミリーサポートセンター;1週間あたりの日数(単一回答)



放課後等デイサービス;1週間あたりの日数(単一回答)



その他;1週間あたりの日数(単一回答)



学年別×高学年の放課後の過ごし方

- ・学年別に高学年のうちの放課後の過ごし方をみていくと、3年生以上では、学年があがるにつれて、放課後を「自宅」で過ごさせたい割合が高くなっています。
- ・一方で、放課後児童クラブで過ごさせたい割合は、5年生で8.9%、6年生で10.1%と高学年の割合は低い傾向がみられます。

上段：票数 下段：割合	高学年の放課後の過ごし方										
	n (回答者数)	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事	児童館	放課後こ ども教室	放課後児 童クラブ (学童保育)	ファミリ ーサポ ート センタ ー	放課後等 デイサー ビス	その他 (公園等)	無回答
全体	2,064	1,565	687	1,378	285	460	333	101	148	669	263
	100.0%	75.8%	33.3%	66.8%	13.8%	22.3%	16.1%	4.9%	7.2%	32.4%	12.7%
1年生	354	234	91	213	62	76	73	27	31	115	74
	100.0%	66.1%	25.7%	60.2%	17.5%	21.5%	20.6%	7.6%	8.8%	32.5%	20.9%
2年生	369	235	102	218	46	76	75	16	29	111	81
	100.0%	63.7%	27.6%	59.1%	12.5%	20.6%	20.3%	4.3%	7.9%	30.1%	22.0%
3年生	347	229	103	216	41	65	64	23	35	121	73
	100.0%	66.0%	29.7%	62.2%	11.8%	18.7%	18.4%	6.6%	10.1%	34.9%	21.0%
4年生	356	306	145	269	58	89	61	8	18	109	7
	100.0%	86.0%	40.7%	75.6%	16.3%	25.0%	17.1%	2.2%	5.1%	30.6%	2.0%
5年生	327	285	132	248	45	80	29	12	16	115	15
	100.0%	87.2%	40.4%	75.8%	13.8%	24.5%	8.9%	3.7%	4.9%	35.2%	4.6%
6年生	308	275	114	213	33	73	31	15	19	98	11
	100.0%	89.3%	37.0%	69.2%	10.7%	23.7%	10.1%	4.9%	6.2%	31.8%	3.6%
無回答	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

(3)土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望(単一回答)

問 10(低学年)または問 11(高学年)で放課後の時間を過ごさせたいと思う場所として「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」を選んだ方

問 12 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。「(1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日」それぞれについて、あてはまるもの1つをお選びいただき、利用したい時間帯についてあてはまるもの1つをお選びください。

- ・放課後児童クラブの土曜日と日曜日・祝日の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ63.9%、81.5%となっています。
- ・利用を希望する時間帯については、土曜日、日曜日・祝日ともに、開始時間では「8時台」、終了時間では「18時台」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

(1) 土曜日

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
低学年(1~3年生)の間は利用したい	111	17.6%					
高学年(4~6年生)になっても利用したい	73	11.6%					
利用する必要はない	403	63.9%					
無効・無回答	44	7.0%					
n(回答者数)	631						

問 12 の(1)土曜日で「1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい」、「2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい」を選んだ方

利用したい時間帯をお答えください。

利用開始時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
6時台以前	1	0.5%		
7時台	38	20.7%		
8時台	52	28.3%		
9時台	18	9.8%		
10時台	2	1.1%		
11時台	0	0.0%		
12時台	1	0.5%		
13時台	4	2.2%		
14時台	27	14.7%		
15時台	28	15.2%		
16時台	9	4.9%		
17時台	1	0.5%		
18時台	1	0.5%		
19時台	0	0.0%		
20時台以降	0	0.0%		
無効・無回答	2	1.1%		
n(回答者数)	184			

利用終了時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
12時台以前	2	1.1%		
13時台	2	1.1%		
14時台	3	1.6%		
15時台	6	3.3%		
16時台	8	4.3%		
17時台	57	31.0%		
18時台	74	40.2%		
19時台	28	15.2%		
20時台以降	3	1.6%		
無効・無回答	1	0.5%		
n(回答者数)	184			

母親の就労状況別×土曜日の放課後児童クラブの利用希望

・母親の就労状況別に利用希望をみていくと、「フルタイム（就労中）」では「高学年になっても利用したい」との回答が、「パート・アルバイト等（就労中）」に比べて高くなっています。

上段：票数 下段：割合	土曜日の利用希望				
	n（回答者数）	低学年（1～3年生）の間は利用したい	高学年（4～6年生）になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	631	111	73	403	44
	100.0%	17.6%	11.6%	63.9%	7.0%
フルタイム（就労中）	363	62	49	232	20
	100.0%	17.1%	13.5%	63.9%	5.5%
フルタイム（休業中）	12	4	2	4	2
	100.0%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%
パート・アルバイト等（就労中）	215	38	15	141	21
	100.0%	17.7%	7.0%	65.6%	9.8%
パート・アルバイト等（休業中）	6	0	0	6	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
無職（就労経験あり）	29	6	6	16	1
	100.0%	20.7%	20.7%	55.2%	3.4%
無職（就労経験なし）	2	0	0	2	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
無効・無回答	4	1	1	2	0
	100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%

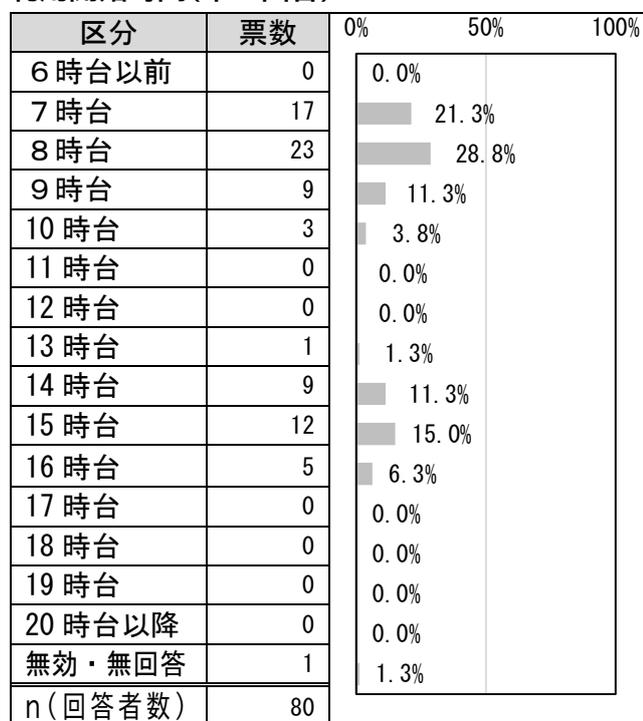
（2）日曜日・祝日

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
低学年（1～3年生）の間は利用したい	41	6.5%					
高学年（4～6年生）になっても利用したい	39	6.2%					
利用する必要はない	514	81.5%					
無効・無回答	37	5.9%					
n（回答者数）	631						

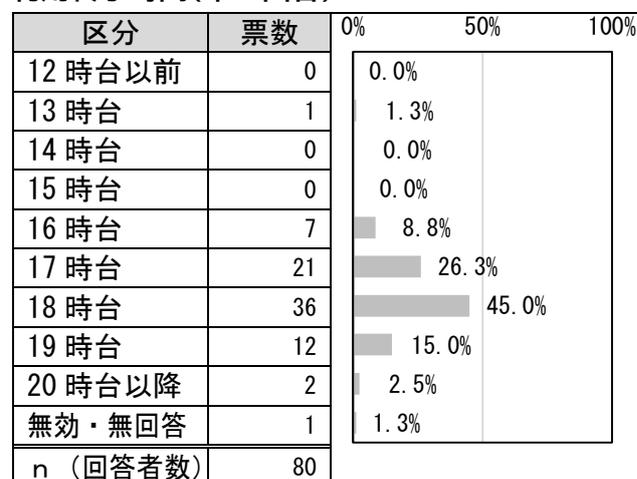
問12の(2)日曜日・祝日で「1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい」、「2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい」を選んだ方

利用したい時間帯をお答えください。

利用開始時間(単一回答)



利用終了時間(単一回答)



母親の就労状況別×日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

・母親の就労状況別に利用希望をみていくと大きな差異はみられず、いずれにおいても「利用する必要がない」が高い結果となりました。

上段：票数 下段：割合	日曜日・祝日の利用希望				
	n(回答者数)	低学年(1～3年生)の間は利用したい	高学年(4～6年生)になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	631	41	39	514	37
	100.0%	6.5%	6.2%	81.5%	5.9%
フルタイム(就労中)	363	19	27	297	20
	100.0%	5.2%	7.4%	81.8%	5.5%
フルタイム(休業中)	12	0	1	9	2
	100.0%	0.0%	8.3%	75.0%	16.7%
パート・アルバイト等(就労中)	215	18	10	173	14
	100.0%	8.4%	4.7%	80.5%	6.5%
パート・アルバイト等(休業中)	6	0	0	6	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
無職(就労経験あり)	29	3	1	24	1
	100.0%	10.3%	3.4%	82.8%	3.4%
無職(就労経験なし)	2	0	0	2	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
無効・無回答	4	1	0	3	0
	100.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%

(4)長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望(単一回答)

問 13 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中に放課後児童クラブの利用を希望しますか。あてはまるもの1つをお選びいただき、利用したい時間帯についてあてはまるもの1つをお選びください。

- ・長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望についてみると、「利用する必要はない」が50.6%となっています。
- ・「高学年（4～6年生）になっても利用したい」との回答が26.6%となっており、高学年の長期休暇時において児童クラブの利用ニーズが一定程度あります。
- ・利用を希望する時間帯については、開始時間では「8時台」、終了時間では「18時台」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
低学年（1～3年生）の間は利用したい	401	19.4%					
高学年（4～6年生）になっても利用したい	550	26.6%					
利用する必要はない	1,045	50.6%					
無効・無回答	68	3.3%					
n（回答者数）	2,064						

問 13 で「1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい」、「2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい」を選んだ方

利用したい時間帯をお答えください。

利用開始時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
6時台以前	2	0.2%		
7時台	210	22.1%		
8時台	372	39.1%		
9時台	122	12.8%		
10時台	17	1.8%		
11時台	0	0.0%		
12時台	1	0.1%		
13時台	10	1.1%		
14時台	63	6.6%		
15時台	89	9.4%		
16時台	32	3.4%		
17時台	1	0.1%		
18時台	0	0.0%		
19時台	0	0.0%		
20時台以降	0	0.0%		
無効・無回答	32	3.4%		
n（回答者数）	951			

利用終了時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
12時台以前	8	0.8%		
13時台	3	0.3%		
14時台	11	1.2%		
15時台	53	5.6%		
16時台	116	12.2%		
17時台	315	33.1%		
18時台	325	34.2%		
19時台	81	8.5%		
20時台以降	7	0.7%		
無効・無回答	32	3.4%		
n（回答者数）	951			

母親の就労状況別×夏休み・冬休みなどの長期休暇中の利用希望

・「高学年になっても利用したい」との回答は「パート・アルバイト等(就労中)」の22.1%に比べて「フルタイム(就労中)」では36.0%と高くなっています。

上段：票数 下段：割合	夏休み・冬休みなどの長期休暇中の利用希望				
	n (回答者数)	低学年(1~3年生)の間は利用したい	高学年(4~6年生)になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	2,064	401	550	1,045	68
	100.0%	19.4%	26.6%	50.6%	3.3%
フルタイム (就労中)	887	185	319	355	28
	100.0%	20.9%	36.0%	40.0%	3.2%
フルタイム (休業中)	29	12	9	8	0
	100.0%	41.4%	31.0%	27.6%	0.0%
パート・アル バイト等(就労中)	877	169	194	487	27
	100.0%	19.3%	22.1%	55.5%	3.1%
パート・アル バイト等(休業中)	16	7	4	5	0
	100.0%	43.8%	25.0%	31.3%	0.0%
無職 (就労経験あり)	220	25	21	162	12
	100.0%	11.4%	9.5%	73.6%	5.5%
無職 (就労経験なし)	16	1	0	15	0
	100.0%	6.3%	0.0%	93.8%	0.0%
無効・無回答	19	2	3	13	1
	100.0%	10.5%	15.8%	68.4%	5.3%

5 あて名のお子さんの病気の際の対応

(1)子どもが病気やケガで学校を休んだことの有無(単一回答)

問 14 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

- ・病気やケガで学校を休んだことの有無についてみると、「あった」が75.2%となっています。「なかった」との回答は24.1%で、未就学児(16.1%)に比べて8ポイント近く増加しています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
あった	1,553	75.2%					
なかった	497	24.1%					
無効・無回答	14	0.7%					
n (回答者数)	2,064						

(2)子どもが病気やケガで学校を休んだ場合の、この1年間に行った対処方法(複数回答)

問 14 で病気やケガで学校を休んだことが「1. あった」を選んだ方

問 14-1 この1年間に行った対処方法とそれぞれの日数はおおむね何日ですか。あてはまるものすべてをお選びいただき、それぞれの日数についてあてはまるもの1つをお選びください。

(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

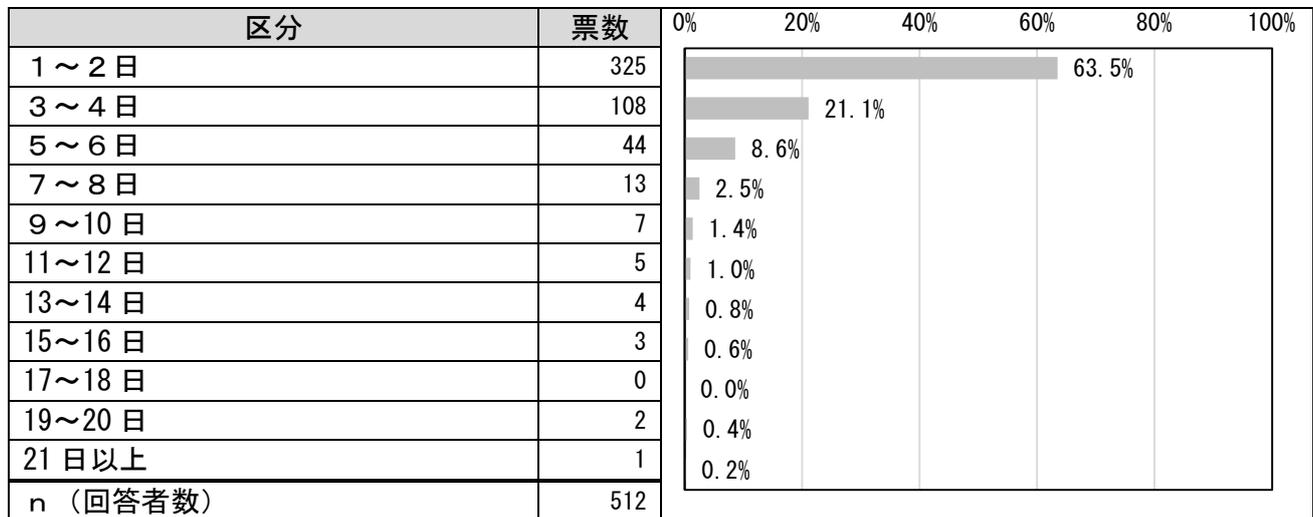
- ・子どもが病気やケガで学校を休んだ場合の対処方法についてみると、「母親が仕事を休んだ」が78.9%と最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」が33.0%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が30.9%となっています。
- ・「病児保育を利用した」との回答は2.5%でした。
- ・未就学児では0.9%だった「子どもだけで留守番をさせた」との回答は17.8%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
父親が仕事を休んだ	512	33.0%					
母親が仕事を休んだ	1,225	78.9%					
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	480	30.9%					
父親または母親のうち就労していない保護者がみた	232	14.9%					
病児保育を利用した	39	2.5%					
ベビーシッターを利用した	6	0.4%					
ファミリーサポートセンターを利用した	7	0.5%					
子どもだけで留守番をさせた	277	17.8%					
その他	30	1.9%					
無効・無回答	23	1.5%					
n (回答者数)	1,553						

子どもが病気やケガの際の対処方法別の1年間の対処日数

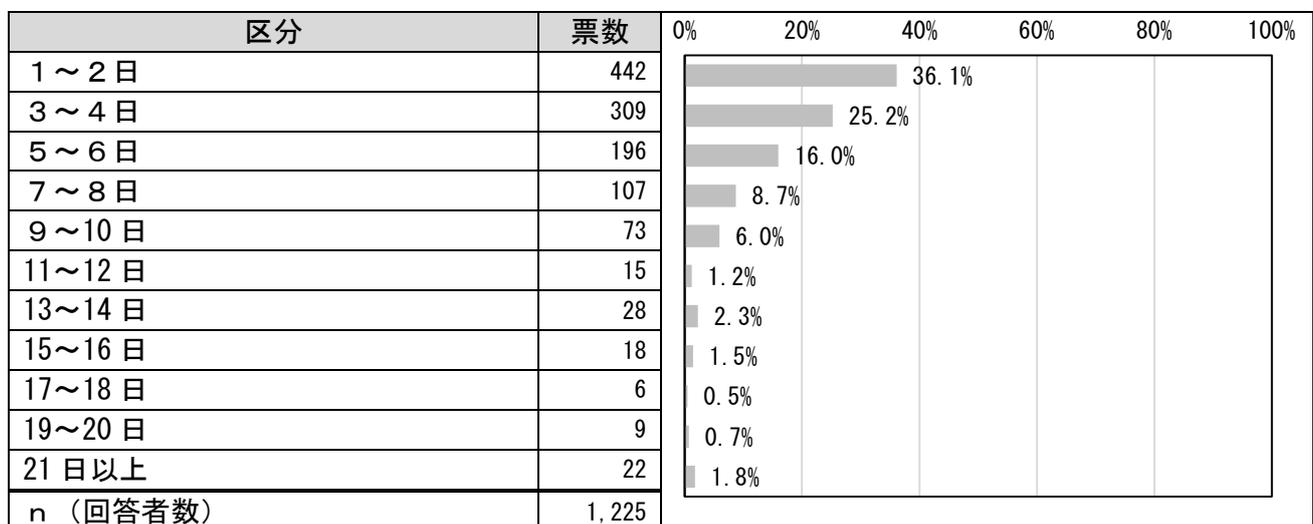
父親が仕事を休んだ(単一回答)

・「1～2日」が63.5%と最も多く占めており、6日以下で93.2%を占めています。



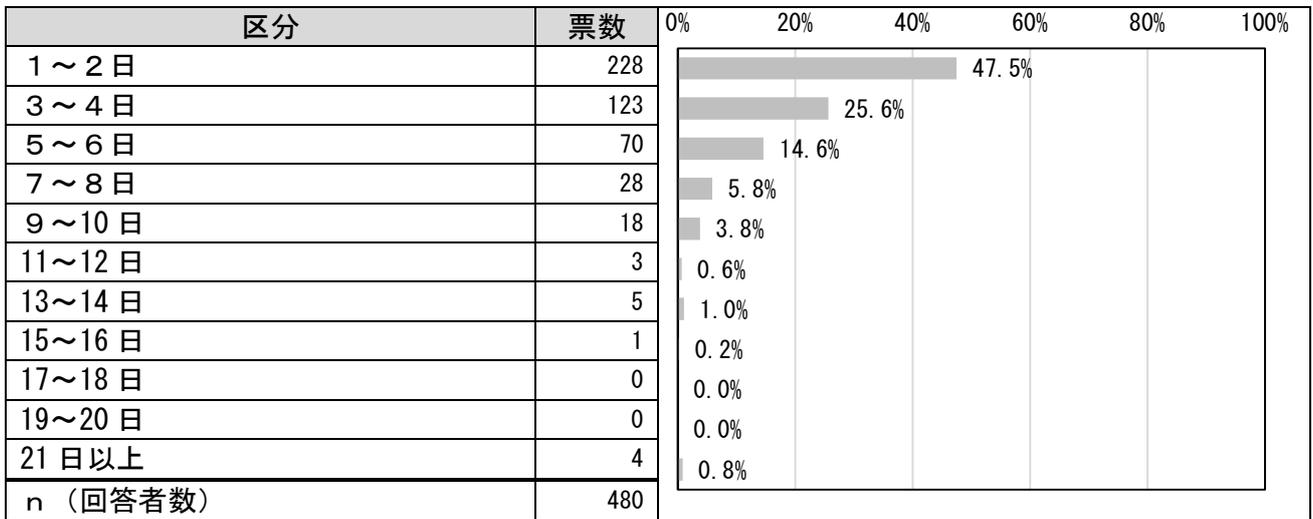
母親が仕事を休んだ(単一回答)

・「1～2日」が36.1%、「3～4日」が25.2%と続き、6日以下では77.3%と父親に比べて長く休んで対応しています。



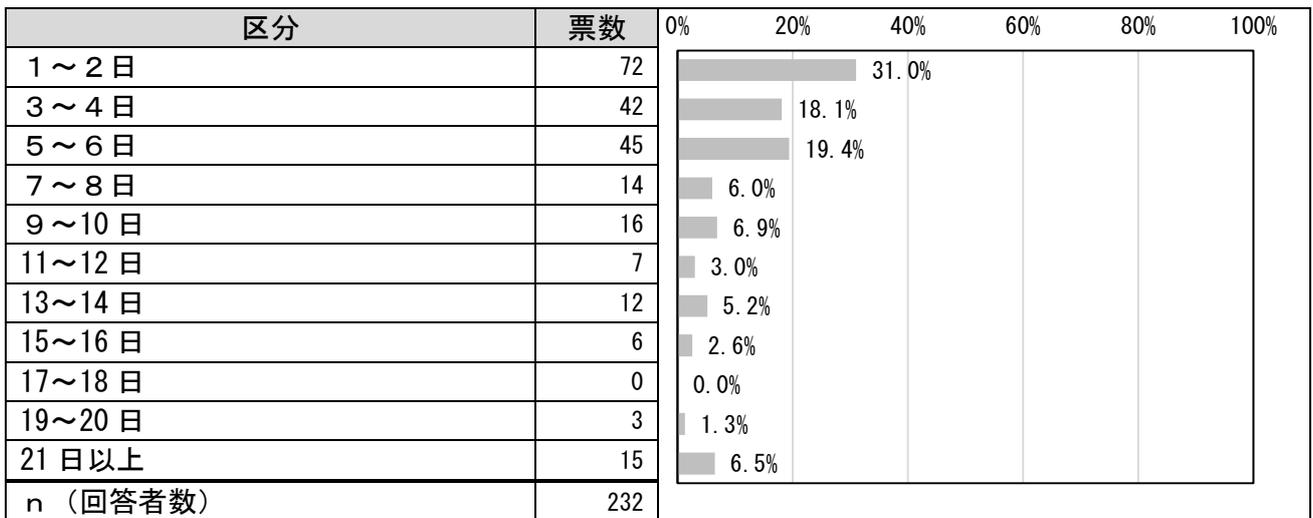
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった(単一回答)

・「1～2日」が47.5%、「3～4日」が25.6%と続き、6日以下では87.7%です。

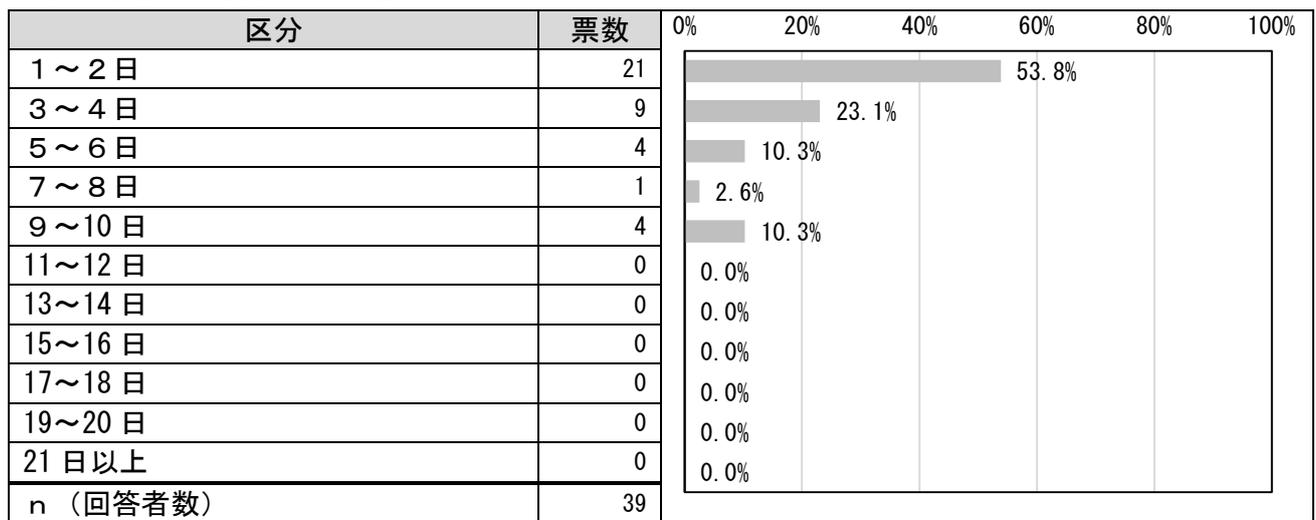


父親または母親のうち就労していない保護者がみた(単一回答)

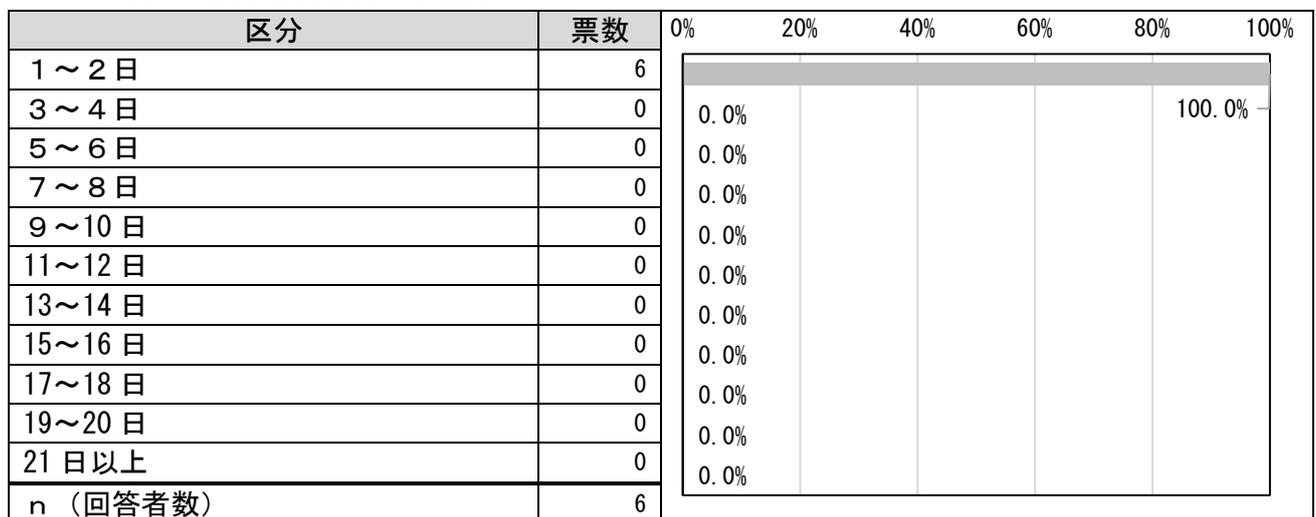
・「1～2日」との回答が最も多く31.0%、ついで「5～6日」が19.4%となっています。



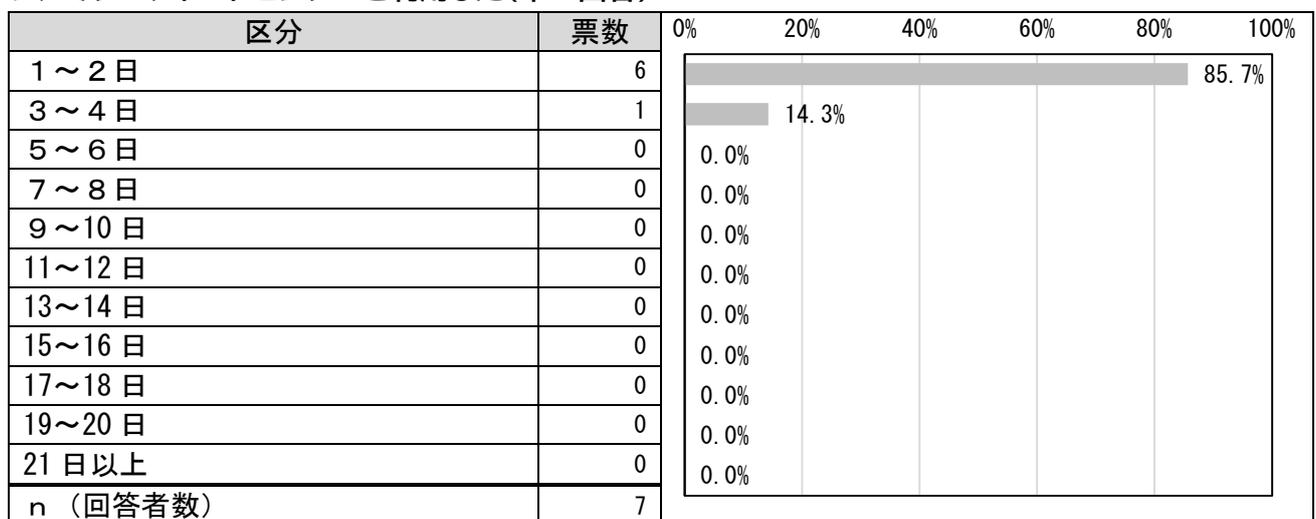
病児保育を利用した(単一回答)



ベビーシッターを利用した(単一回答)

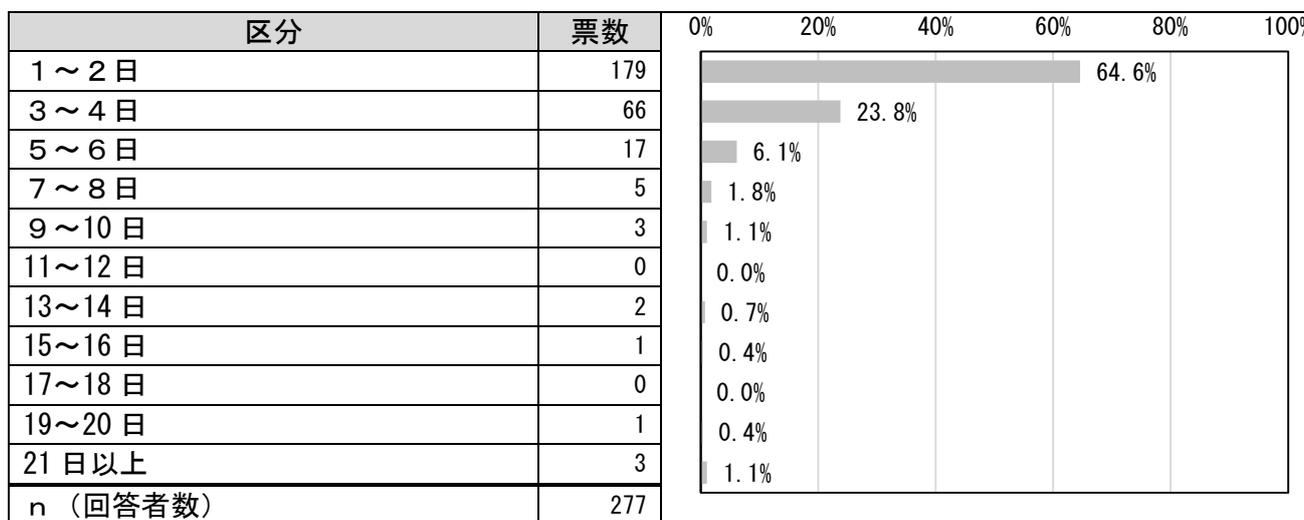


ファミリーサポートセンターを利用した(単一回答)



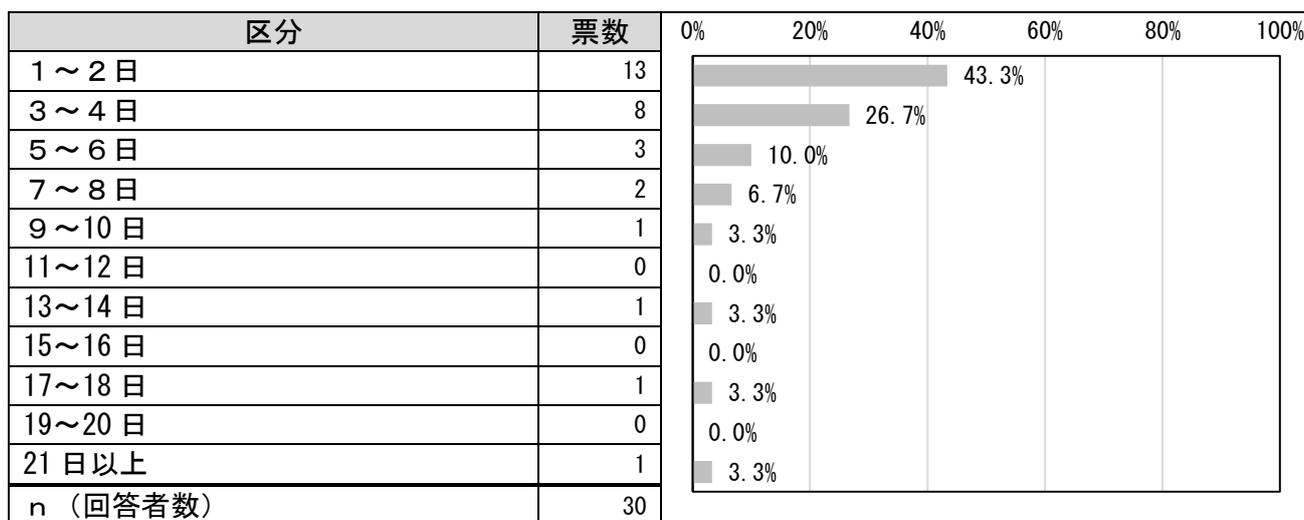
子どもだけで留守番をさせた(単一回答)

・「1～2日」が64.6%、「3～4日」が23.8%となりました。



その他(単一回答)

・「テレワーク」、「在宅勤務で対応」などの回答がありました。



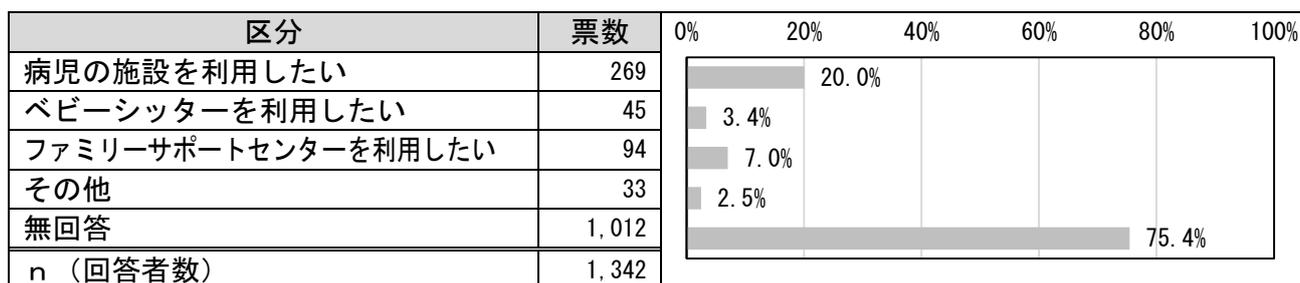
(3)病児の施設やファミリーサポートセンターなどの利用希望(単一回答)

問 14-1 で「ア. 父親が仕事を休んだ」、「イ. 母親が仕事を休んだ」又は「ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」のいずれかを選んだ方

問 14-2 その際、できれば病児の施設やファミリーサポートセンターなどを利用したいと思われた日数はどれくらいありますか。あてはまるもの1つをお選びください。

※ファミリーサポートセンターでは、病後児のみ対応しています。

- ・病児の施設やファミリーサポートセンターなどの利用希望についてみていくと、いずれの施設にも利用希望日数の記入が無い回答者が 75.4%となりました。
- ・「病児の施設を利用したい」との回答は 20.0%でした。

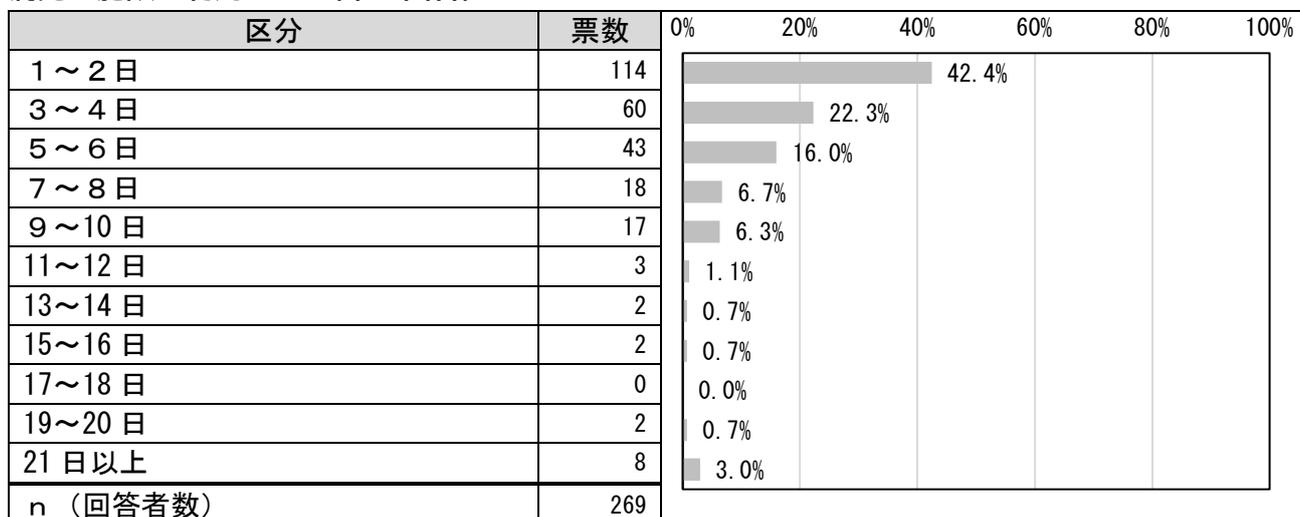


(4)病児の施設やファミリーサポートセンターなどの利用希望日数(単一回答)

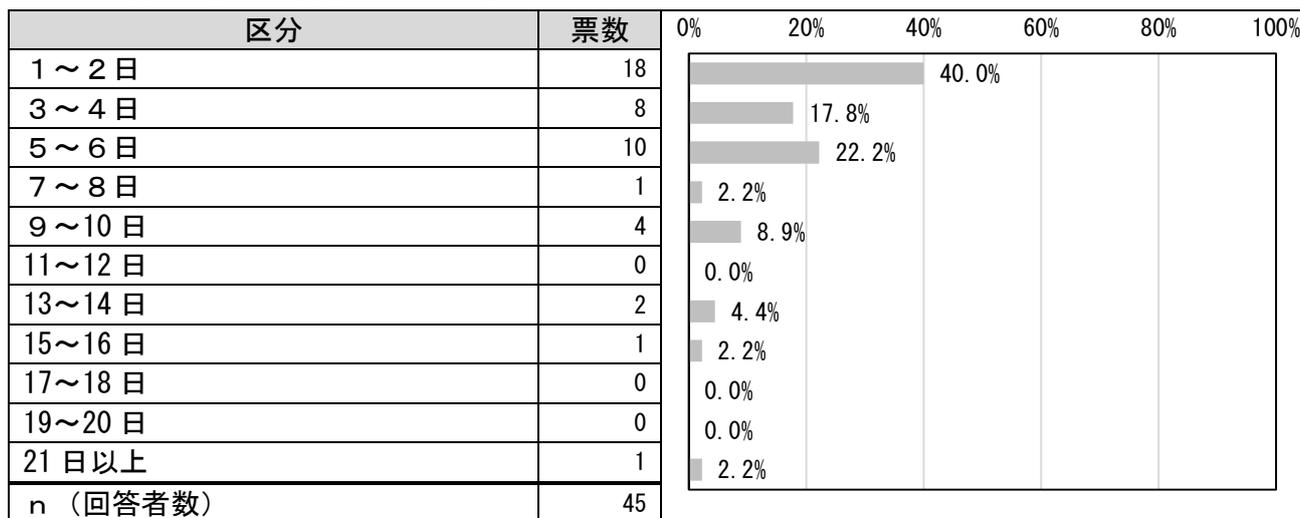
問 14-2 で「ア」～「エ」(利用したい)を選んだ方

- ・「病児の施設を利用したい」との回答では「1～2日」との回答が 42.4%、「3～4日」が 22.3%となっています。
- ・「ベビーシッターを利用したい」との回答では「1～2日」との回答が 40.0%、「5～6日」が 22.2%となっています。
- ・「ファミリーサポートセンターを利用したい」との回答では「1～2日」との回答が 46.8%、「5～6日」が 18.1%となっています。

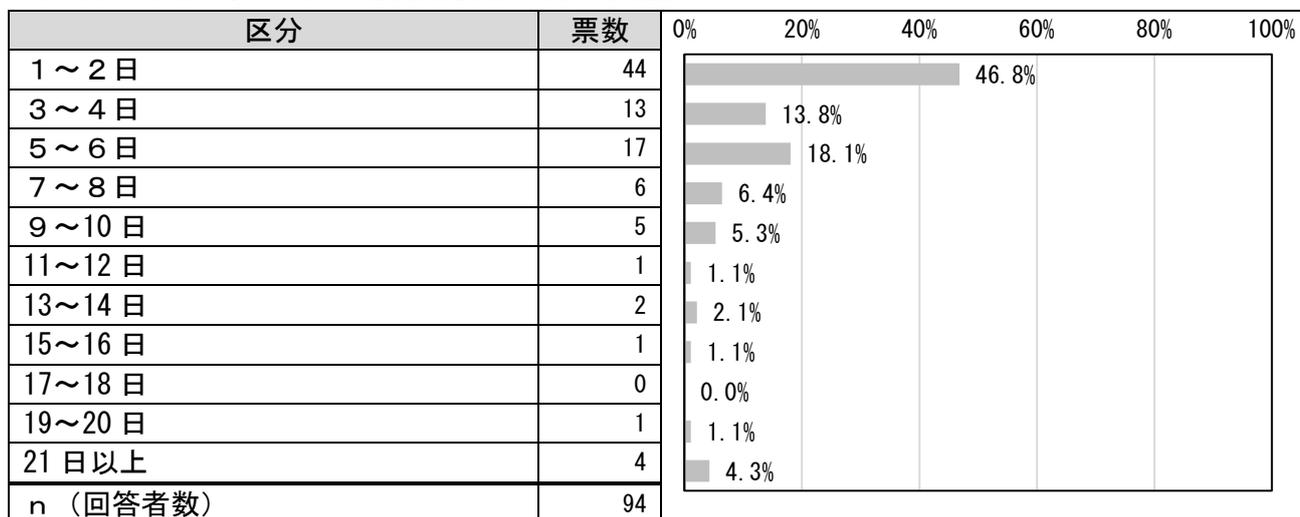
病児の施設を利用したい(単一回答)



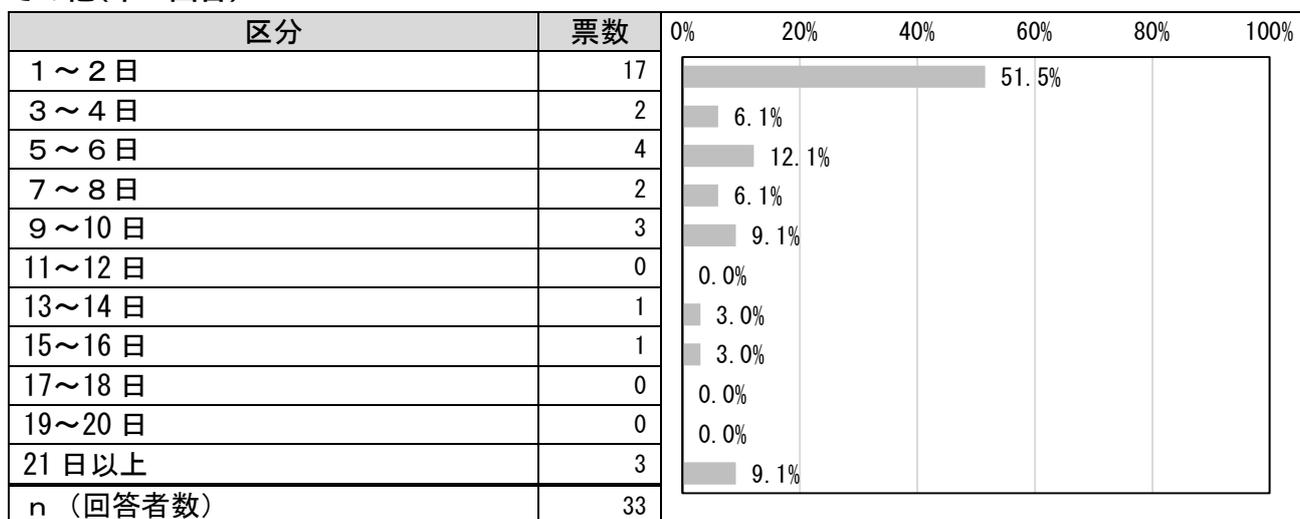
ベビーシッターを利用したい(単一回答)



ファミリーサポートセンターを利用したい(単一回答)



その他(単一回答)



6 一時預かりの利用

(1)一時預かりサービスの利用の有無(単一回答)

問 15 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、ファミリーサポートセンター、ベビーシッターなどの一時預かりサービスを利用したことはありますか。どちらか1つをお選びいただき、ある場合は、日数についてあてはまるもの1つをお選びください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

- ・一時預かりサービスの利用についてみると、「利用したことがある」との回答は0.8%と、利用経験のある回答者はほとんどいませんでした。
- ・また、利用した目的の内訳については、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的、冠婚葬祭」が68.8%、「就労」が62.5%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ある	16	0.8%					
ない	1,826	88.5%					
無効・無回答	222	10.8%					
n（回答者数）	2,064						

問 15 で一時預かりサービスの利用が「1.ある」を選んだ方

年間日数(単一回答)

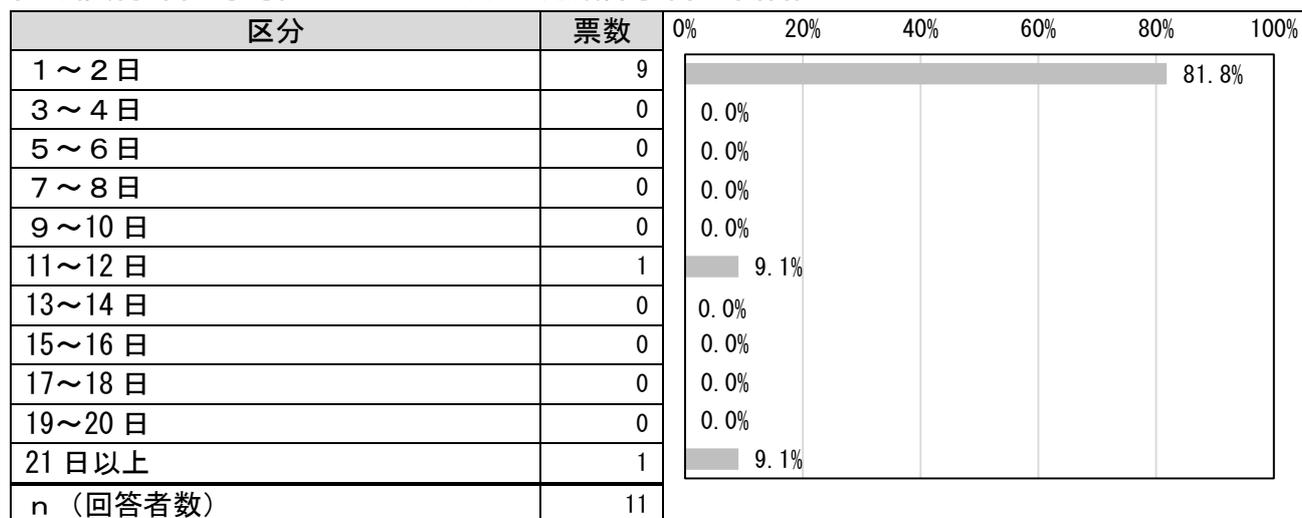
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1～2日	10	62.5%					
3～4日	3	18.8%					
5～6日	0	0.0%					
7～8日	0	0.0%					
9～10日	1	6.3%					
11～12日	1	6.3%					
13～14日	0	0.0%					
15～16日	0	0.0%					
17～18日	0	0.0%					
19～20日	0	0.0%					
21日以上	1	6.3%					
n（回答者数）	16						

(2)一時預かりサービスを利用した理由(複数回答)

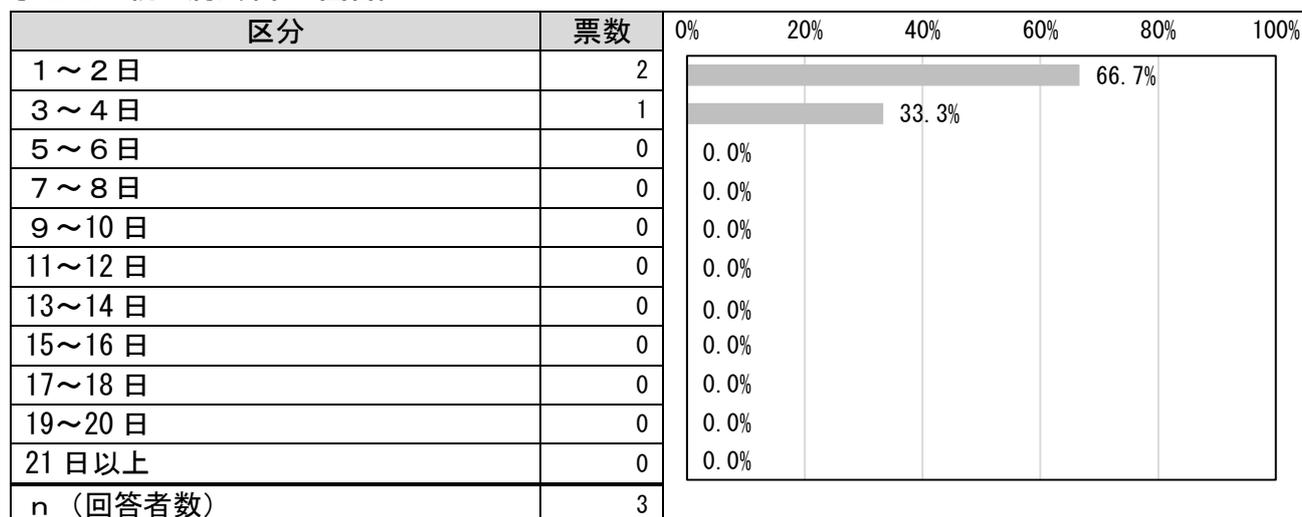
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的、冠婚葬祭	11	68.8%					
子どもの親の病気	3	18.8%					
就労	10	62.5%					
n（回答者数）	16						

利用した年間日数

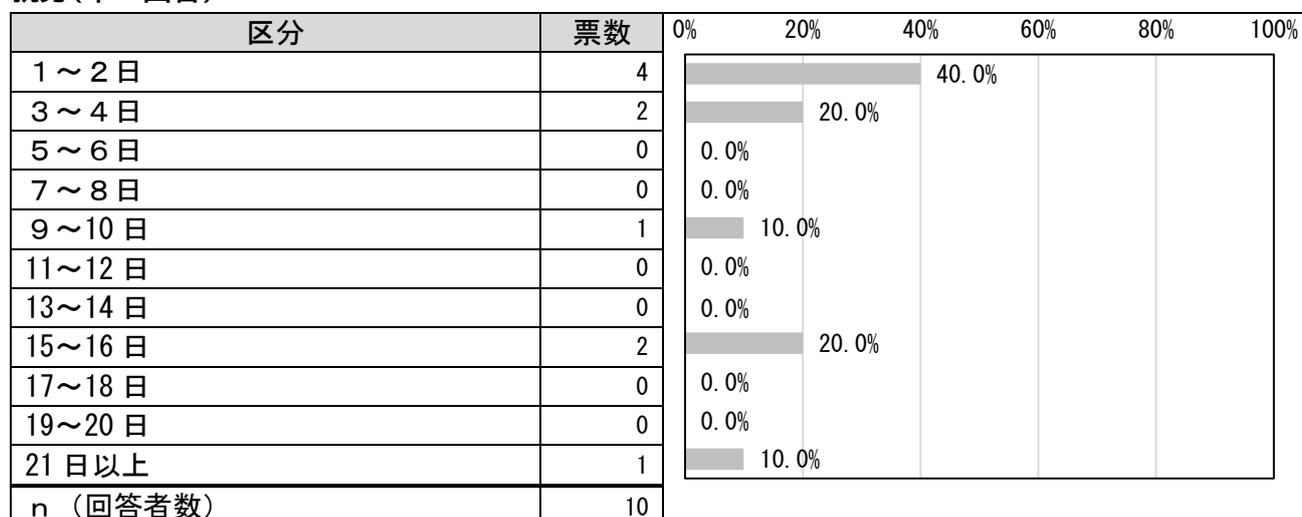
私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的、冠婚葬祭(単一回答)



子どもの親の病気(単一回答)



就労(単一回答)



(3)一時預かりサービス等の利用希望(単一回答)

問 16 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思
いますか。希望がある場合は日数等についてあてはまるもの1つをお選びください。

- ・一時預かりサービス等の利用希望については、「利用したいと思わない」が73.4%でした。
- ・一月あたりの利用希望日数では「1～2日」との回答が62.1%と最も多く、1日の利用希望時間は「3～4時間」との回答が多くなっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
今は利用していないが、できれば利用したい	301						
利用日数・回数を増やしたい	10						
利用したいと思わない	1,514						
無効・無回答	239						
n (回答者数)	2,064						

利用希望

月間日数(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1～2日	193						
3～4日	55						
5～6日	12						
7～8日	8						
9～10日	14						
11～12日	1						
13～14日	1						
15～16日	1						
17～18日	0						
19～20日	2						
21日以上	4						
無効・無回答	20						
n (回答者数)	311						

1回あたりの利用時間(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1～2時間	29						
3～4時間	134						
5～6時間	92						
7時間以上	38						
無効・無回答	18						
n (回答者数)	311						

(4)ショートステイの利用希望(単一回答)

問 17 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

ショートステイ（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）の利用希望の有無について当てはまるものをお選びいただき、利用を希望する場合はそれぞれの日数についてお選びください。

- ・ショートステイの利用希望の有無についてみると、「利用する必要はない」が89.0%となっています。
- ・また、利用したい目的の内訳については、「保護者や家族の病気」が57.1%、「冠婚葬祭」が36.4%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用したい	184	8.9%					
利用する必要はない	1,836	89.0%					
無効・無回答	44	2.1%					
n（回答者数）	2,064						

(5)ショートステイを利用したい目的(複数回答)

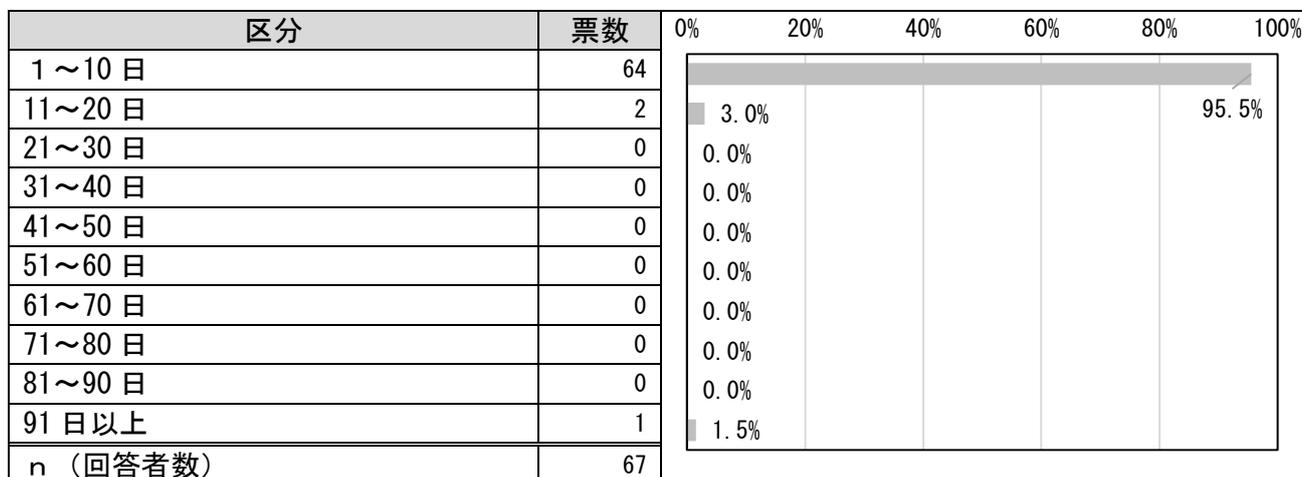
問 17 で「1.利用したい」を選んだ方

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
冠婚葬祭	67	36.4%					
保護者・家族の育児疲れ・不安	57	31.0%					
保護者や家族の病気	105	57.1%					
不定期の就労	54	29.3%					
その他	26	14.1%					
無効・無回答	19	10.3%					
n（回答者数）	184						

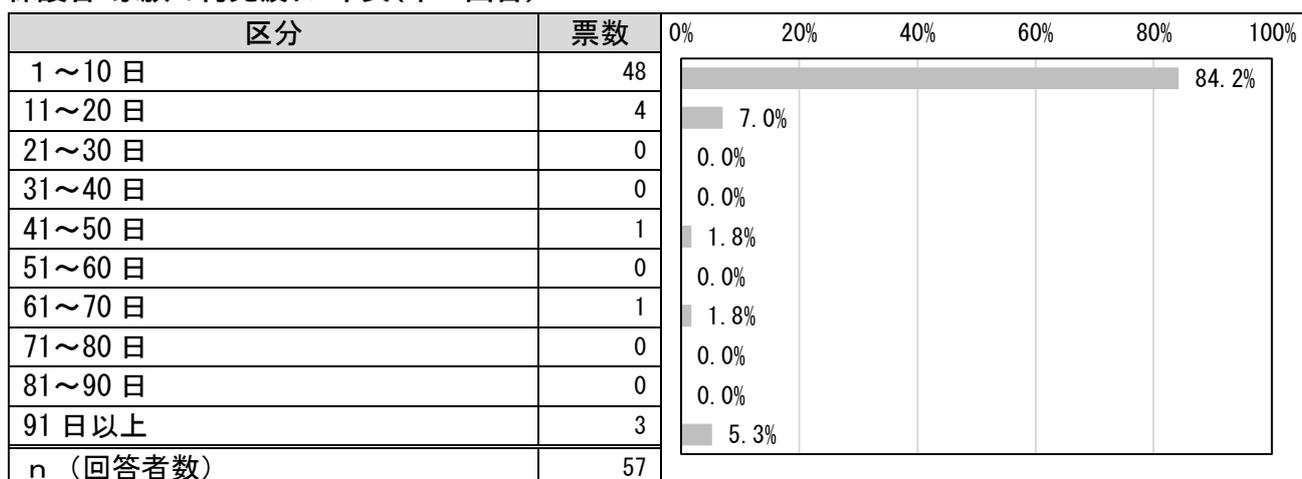
ショートステイを利用したい目的と日数

・ショートステイの利用目的と日数の関係を見ていくと、すべての項目において「1～10日」が最も多くなっています。

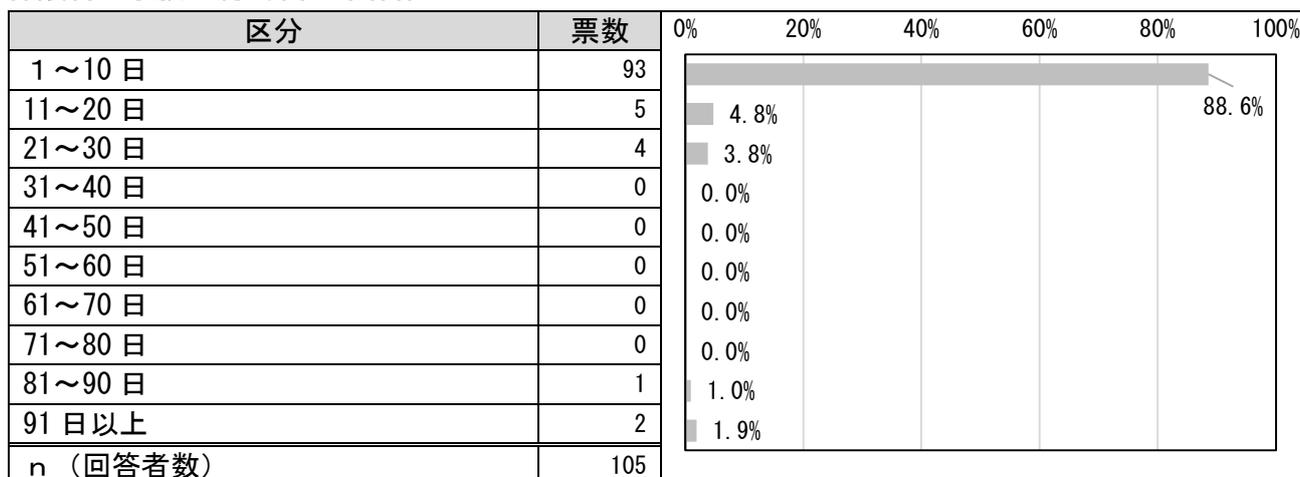
冠婚葬祭(単一回答)



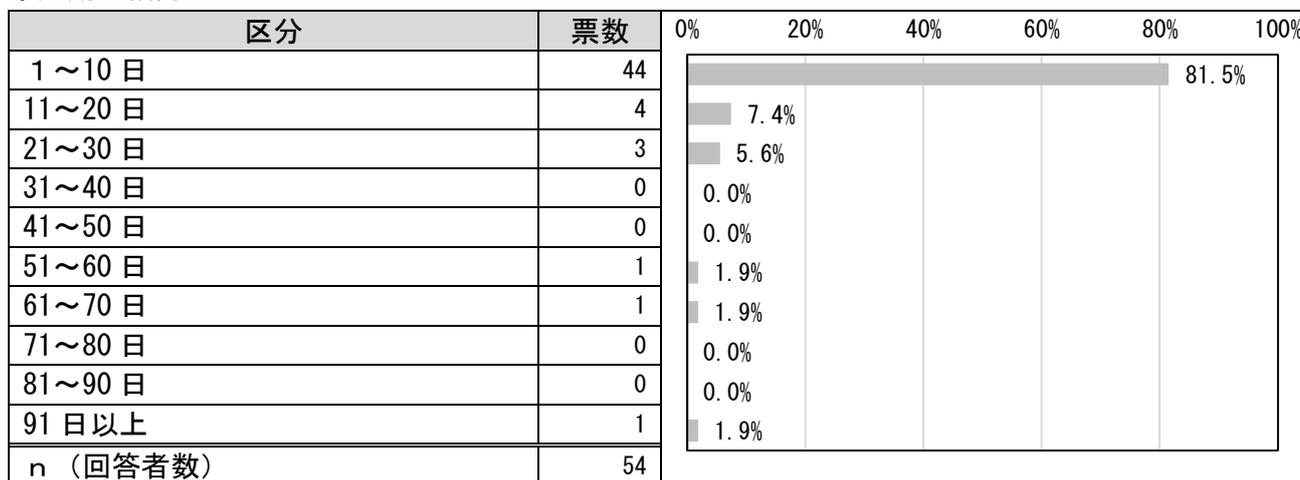
保護者・家族の育児疲れ・不安(単一回答)



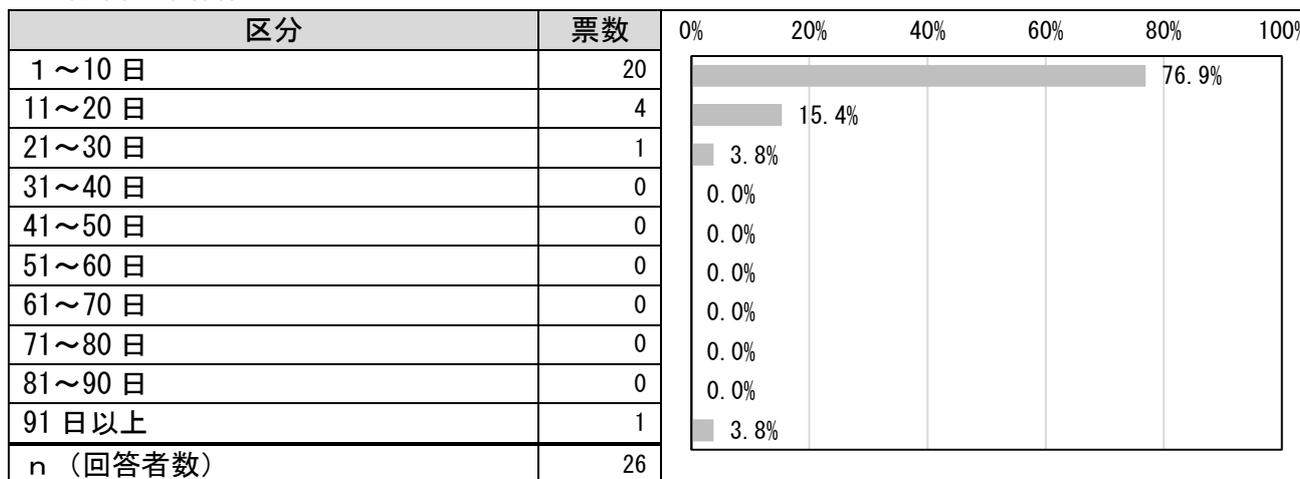
保護者や家族の病気(単一回答)



不定期の就労



その他(単一回答)



(6)ファミリーサポートセンターの利用の有無(単一回答)

問 18 ファミリーサポートセンターを利用していますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・ファミリーサポートセンターの利用の有無については、「利用している」との回答が1.0%であり、「知っているが利用していない」が60.7%を占めます。
- ・「知らなかった」との回答も36.9%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用している	21	1.0%					
知っているが、利用していない	1,253	60.7%					
知らなかった	762	36.9%					
無効・無回答	28	1.4%					
n (回答者数)	2,064						

(7)ファミリーサポートセンターの利用目的(複数回答)

問 18 でファミリーサポートセンターを「1. 利用している」を選んだ方

問 18-1 どのような目的で利用していますか。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・サンプル数が少なく、回答が分散しています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
主な預け先として利用している	4	19.0%					
放課後児童クラブ等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)	4	19.0%					
他の子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している	3	14.3%					
祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	3	14.3%					
親のリフレッシュ・冠婚葬祭・買物等の外出の際に利用している	1	4.8%					
放課後児童クラブ等の送り迎えに利用している	0	0.0%					
その他の目的で利用している	4	19.0%					
無効・無回答	3	14.3%					
n (回答者数)	21						

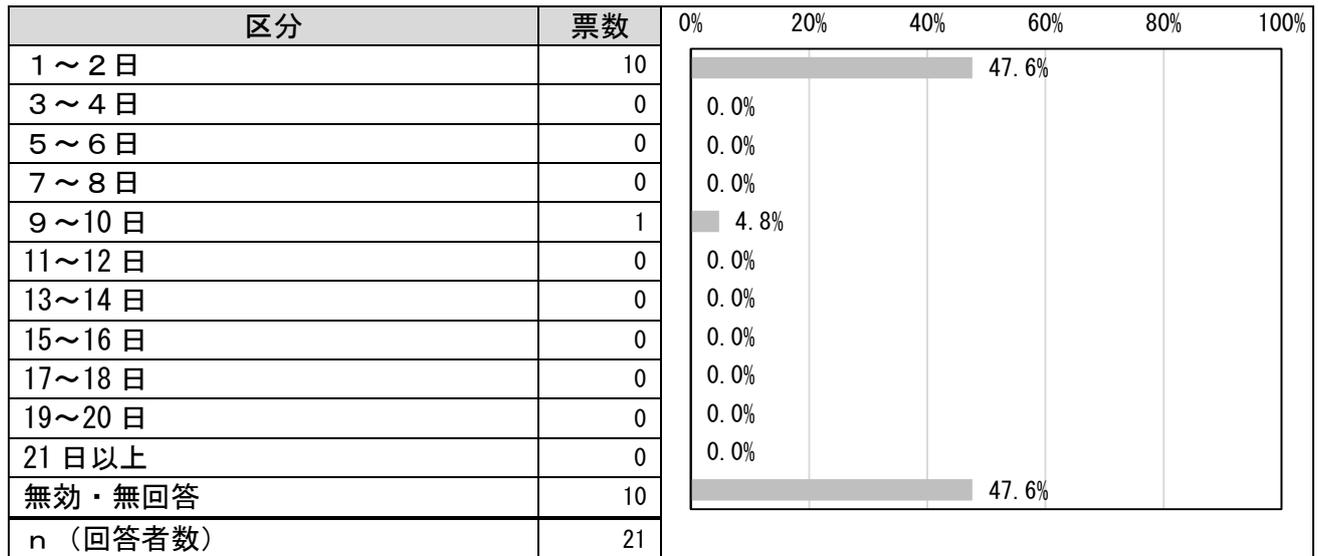
(8)ファミリーサポートセンターの利用頻度(単一回答)

問 18 でファミリーサポートセンターを「1. 利用している」を選んだ方

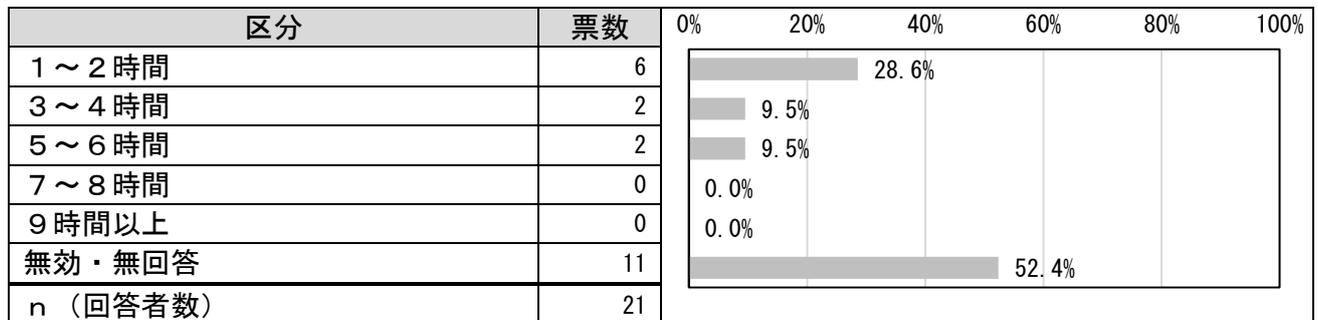
問 18-2 どれくらいの頻度で利用していますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・ 1月あたりの利用日数については「1～2日」が47.6%となっています。
- ・ 1回あたりの利用時間は「1～2時間」が多くなっています。

月あたりの日数



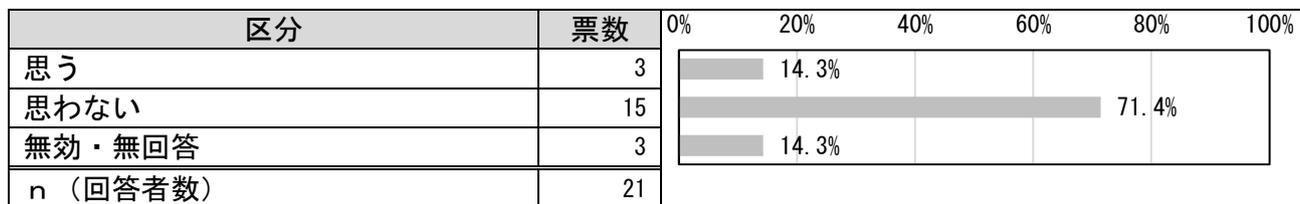
1回あたりの利用時間



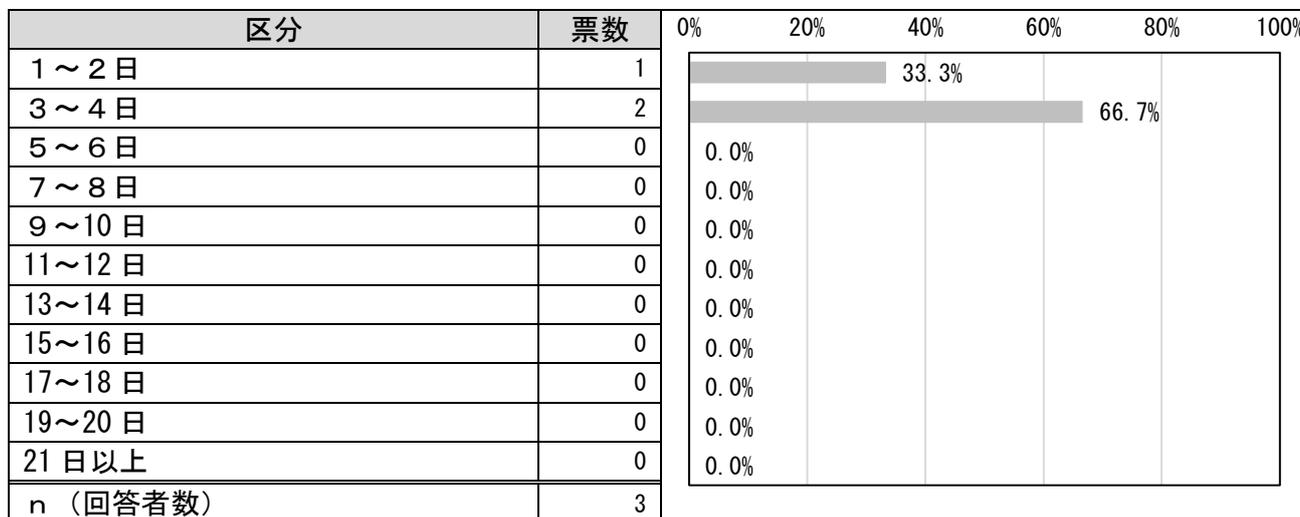
問 18-3 さらに利用日数・回数を増やしたいと思いますか。 希望がある場合は、お答えください。

※問 18-2 で記入した数字を含めた日数・時間数をあてはまるもの1つをお選びください。

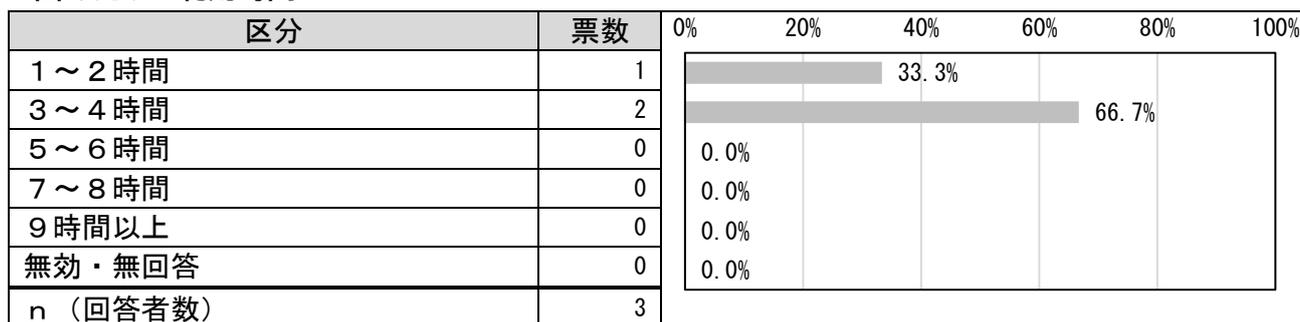
・利用日数・回数を増やしたいと思いますかについては「思わない」が71.4%になっています。



月あたりの日数



1回あたりの利用時間



問 18 でファミリーサポートセンターを「2. 知っているが、利用していない」または「3. 知らなかった」を選んだ方

問 18-4 今は利用していないが、今後できれば利用したい方は、あてはまるもの1つをお選びください。利用の希望がなければ、問 19 へお進みください。

- ・ファミリーサポートセンターを利用していない方の利用希望については「利用する必要はない」が86.1%でした。
- ・利用したいと回答した中で最も多かった回答は、1月あたりの利用日数では「1～2日」で62.5%、1回あたりの利用時間では「3～4時間」で37.5%となりました。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用したい	251	12.5%					
利用する必要はない	1,735	86.1%					
無効・無回答	29	1.4%					
n (回答者数)	2,015						

月あたりの日数

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1～2日	157	62.5%					
3～4日	39	15.5%					
5～6日	12	4.8%					
7～8日	5	2.0%					
9～10日	7	2.8%					
11～12日	2	0.8%					
13～14日	2	0.8%					
15～16日	0	0.0%					
17～18日	0	0.0%					
19～20日	1	0.4%					
21日以上	2	0.8%					
無効・無回答	24	9.6%					
n (回答者数)	251						

1回あたりの利用時間

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1～2時間	37	14.7%					
3～4時間	94	37.5%					
5～6時間	52	20.7%					
7～8時間	38	15.1%					
9時間以上	8	3.2%					
無効・無回答	22	8.8%					
n (回答者数)	251						

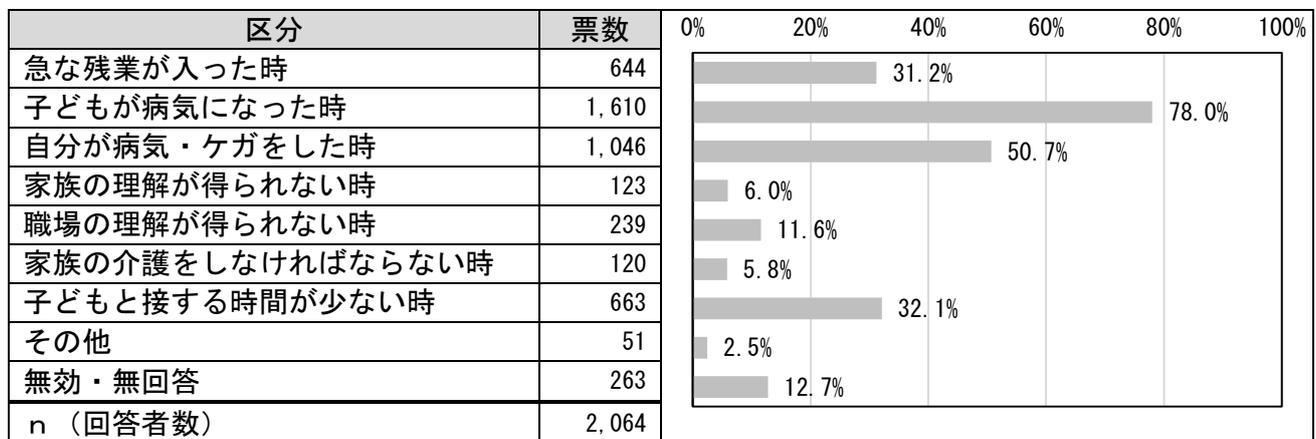
7 ワーク・ライフ・バランス

(1)仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じる時(複数回答※3 つまで)

現在、働いている方

問 19 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じるのはどのような時ですか。主なものを3つまでお選びください。

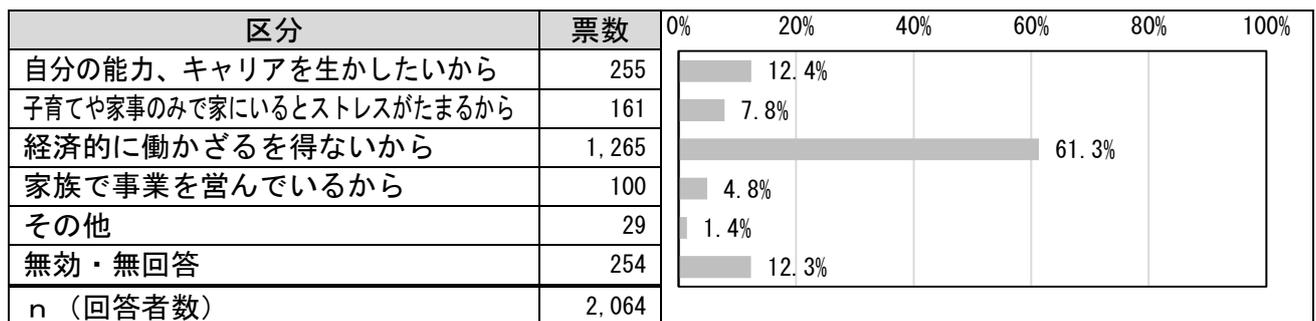
- ・仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じる時はどのようなときか尋ねると、「子どもが病気になった時」が78.0%、「自分が病気・ケガをした時」が50.7%と続いており、自分や子どもの病気やケガの際の対応が課題となっています。



(2)仕事を続ける理由(単一回答)

問 20 現在、仕事を続けている理由は何ですか。あなたの考えにもっとも近いもの1つをお選びください。

- ・仕事を続けている理由について尋ねると、「経済的に働かざるを得ないから」との回答が61.3%と最も多くなっています。



(3)家庭内での家事分担(単一回答)

配偶者・パートナーと同居されている方

問 21 あなたの家庭での男女の家事分担は、次のうちどのような形ですか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・配偶者等との家事分担については、「女性が主に家事をしている」が54.4%と最も多く、「できることをそれぞれが分担している」が38.1%となります。
- ・「男性が主に家事をしている」との回答はほとんどありません。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
できることをそれぞれが分担している	786	38.1%					
男性が主に家事をしている	15	0.7%					
女性が主に家事をしている	1,123	54.4%					
その他	15	0.7%					
無効・無回答	125	6.1%					
n (回答者数)	2,064						

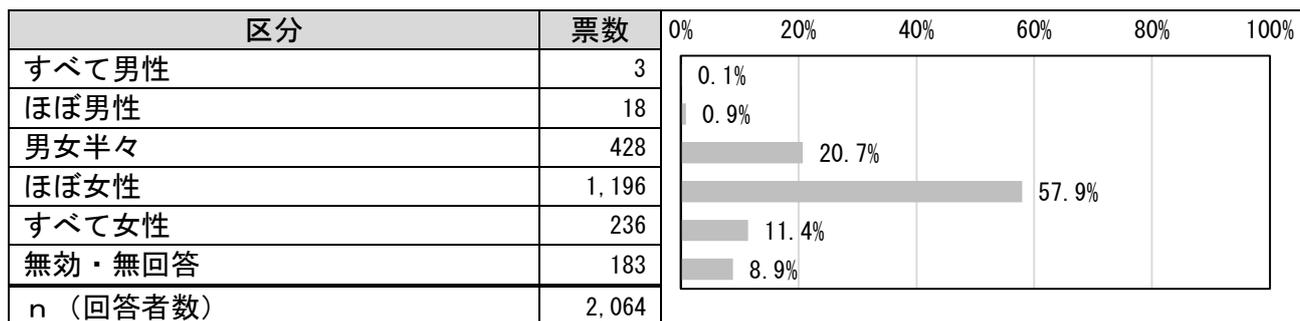
(4)家庭内での家事・育児の分担割合(単一回答)

配偶者・パートナーと同居されている方

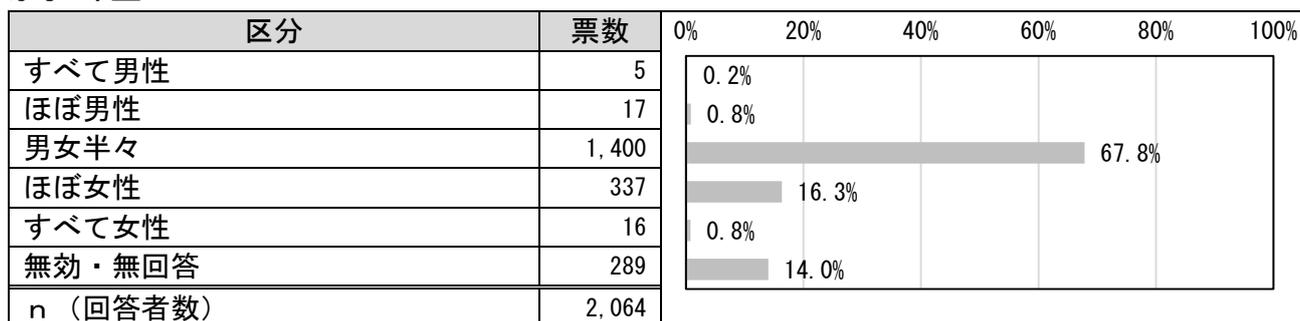
問 22 現在のあなたの家庭で、男女それぞれの家事・育児を担う割合について、あなたが思う「現実」と「希望」の割合についてあてはまるもの1つをお選びください。なお、現実が希望どおりである場合は、希望欄の回答は必要ありません。

- ・男女の家事・育児の分担割合について「現実」と「希望」をそれぞれ尋ねると、家事の現実は「ほぼ女性」が57.9%と最も高くなっており、ついで「男女半々」が20.7%です。
- ・家事の希望は、「男女半々」が67.8%と最も高く、男女とも同じ程度の分担が望ましいと考えていることが伺えます。
- ・育児については、現実「ほぼ女性」が52.3%と最も高くなっており、ついで「男女半々」が30.0%です。
- ・育児の希望は、「男女半々」が77.3%と最も高く、男女とも同じ程度の分担が望ましいと考えていることが伺えます。

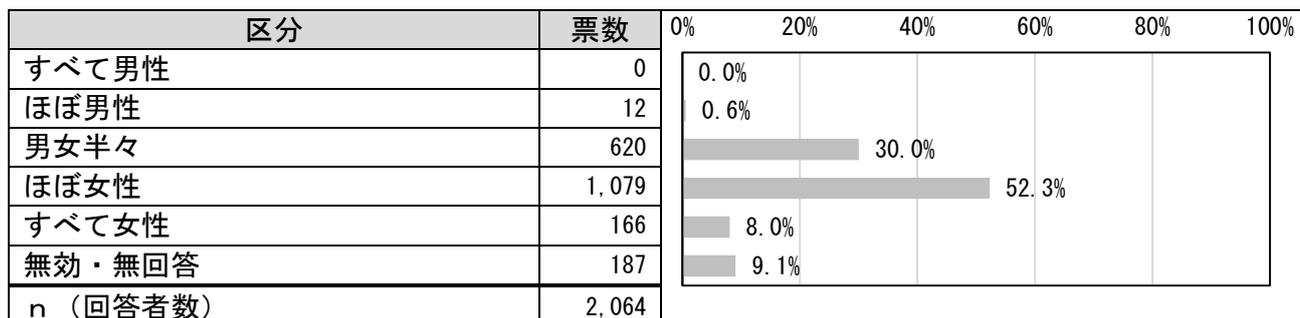
家事・現実



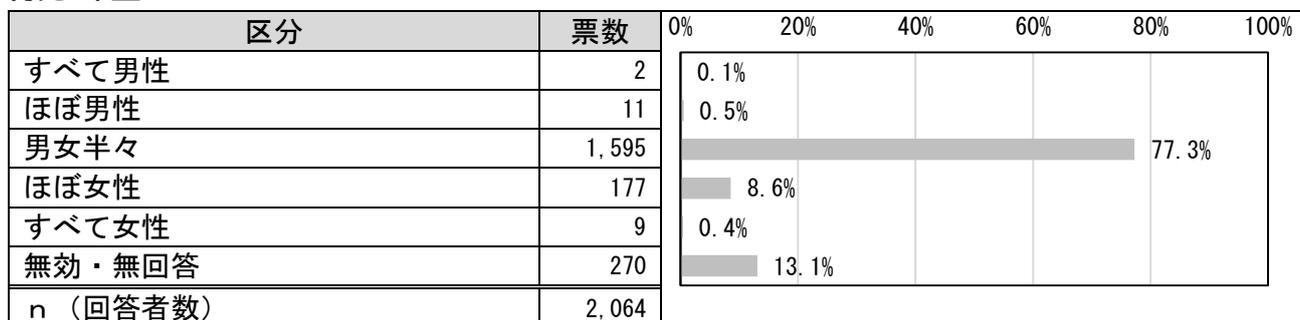
家事・希望



育児・現実



育児・希望



(5)ワーク・ライフ・バランスを実現するために必要なもの(複数回答※3 つまで)

問 23 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために、必要なものは何だと思
いますか。主なものを3つまでお選びください。

- ・ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために必要なものについては、「フレックスタイム制、短時間勤務、時差出勤など多様な働き方の導入」が42.7%、「ワーク・ライフ・バランスを認める社会・職場のムード」が36.3%、「有給休暇取得の促進」が24.6%、「休業制度」が24.4%と、職場での環境整備に関する項目が上位となっており、次いで「保育所・放課後児童クラブなど子どもを預かる施設、介護施設の充実」が21.0%と続いています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
休業制度（育児休業や介護休業など）	504	24.4%					
事業所の従業員に対する経済的支援（保育料やベビーシッター代等の補助など）	304	14.7%					
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設、企業主導型保育事業を含む）の設置	139	6.7%					
フレックスタイム制、短時間勤務、時差出勤など多様な働き方の導入	882	42.7%					
テレワーク（ICTの活用で時間や場所の制約を受けない働き方）、勤務地の限定	378	18.3%					
ノー残業デーなど時間外労働削減のための措置	187	9.1%					
休暇制度（ボランティア休暇、リフレッシュ休暇など）	376	18.2%					
ワーク・ライフ・バランスを認める社会・職場のムード	750	36.3%					
有給休暇取得の促進（1時間単位で利用できる有給休暇制度の拡充など）	507	24.6%					
復職支援（情報提供、学習支援など）	77	3.7%					
保育所・放課後児童クラブなど子どもを預かる施設、介護施設の充実	434	21.0%					
取組企業への経済的支援	137	6.6%					
経営者への理解促進	234	11.3%					
配偶者・パートナーの意識改革	380	18.4%					
その他	54	2.6%					
無効・無回答	41	2.0%					
n（回答者数）	2,064						

8 子育てに関して

(1)子育てに関して感じていること(単一回答)

問 24 あなたは子育てに関して現在どのように感じていますか。あなたの考えにもっとも近いもの1つをお選びください。

- ・子育てに関して感じていることについては「楽しいと感じている」が32.4%、「どちらかといえば楽しい」が44.6%となっています。未就学児に比べると「楽しいと感じている」がやや少なくなっています。
- ・一方、「非常に不安や負担を感じる」と回答している保護者も3.0%存在しています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
楽しいと感じている	669	32.4%					
どちらかといえば楽しい	921	44.6%					
何となく不安や負担を感じる	402	19.5%					
非常に不安や負担を感じる	61	3.0%					
無効・無回答	11	0.5%					
n (回答者数)	2,064						

家事分担(現実)×子育てに関して感じていること

- ・家事分担(現実)別に子育てに関して感じていることをみていくと、男性の家事の分担割合が高いほど「楽しいと感じている」との割合が増加しています。(「すべて男性」はサンプル数が少ない)

上段：票数 下段：割合	子育てに関して感じていること					
	n (回答者数)	楽しいと感じている	どちらかといえば楽しい	なんとなく不安や負担を感じる	非常に不安や負担を感じる	無効・無回答
全体	2,064	669	921	402	61	11
	100.0%	32.4%	44.6%	19.5%	3.0%	0.5%
すべて男性	3	1	1	1	0	0
	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
ほぼ男性	18	8	8	0	2	0
	100.0%	44.4%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%
男女半々	428	180	172	65	9	2
	100.0%	42.1%	40.2%	15.2%	2.1%	0.5%
ほぼ女性	1,196	357	570	237	30	2
	100.0%	29.8%	47.7%	19.8%	2.5%	0.2%
全て女性	236	66	103	52	14	1
	100.0%	28.0%	43.6%	22.0%	5.9%	0.4%
無効・無回答	183	57	67	47	6	6
	100.0%	31.1%	36.6%	25.7%	3.3%	3.3%

育児分担(現実)×子育てに関して感じていること

- ・育児分担（現実）別に子育てに関して感じていることをみていくと、男性の育児の分担割合が高いほど「楽しいと感じている」との割合が増加しています。（「すべて男性」はサンプルが無い）

上段：票数 下段：割合	子育てに関して感じていること					
	n（回答者数）	楽しいと感じている	どちらかといえば楽しい	なんとなく不安や負担を感じる	非常に不安や負担を感じる	無効・無回答
全体	2,064	669	921	402	61	11
	100.0%	32.4%	44.6%	19.5%	3.0%	0.5%
すべて男性	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ほぼ男性	12	5	5	2	0	0
	100.0%	41.7%	41.7%	16.7%	0.0%	0.0%
男女半々	620	247	264	102	5	2
	100.0%	39.8%	42.6%	16.5%	0.8%	0.3%
ほぼ女性	1,079	318	515	207	37	2
	100.0%	29.5%	47.7%	19.2%	3.4%	0.2%
全て女性	166	40	69	43	13	1
	100.0%	24.1%	41.6%	25.9%	7.8%	0.6%
無効・無回答	187	59	68	48	6	6
	100.0%	31.6%	36.4%	25.7%	3.2%	3.2%

(2)子育てに関して気になること、悩んでいること(複数回答※3 つまで)

問 25 子育てに関して、特に気になることや悩んでいることはどのようなことですか。主なものを3 つまでお選びください。

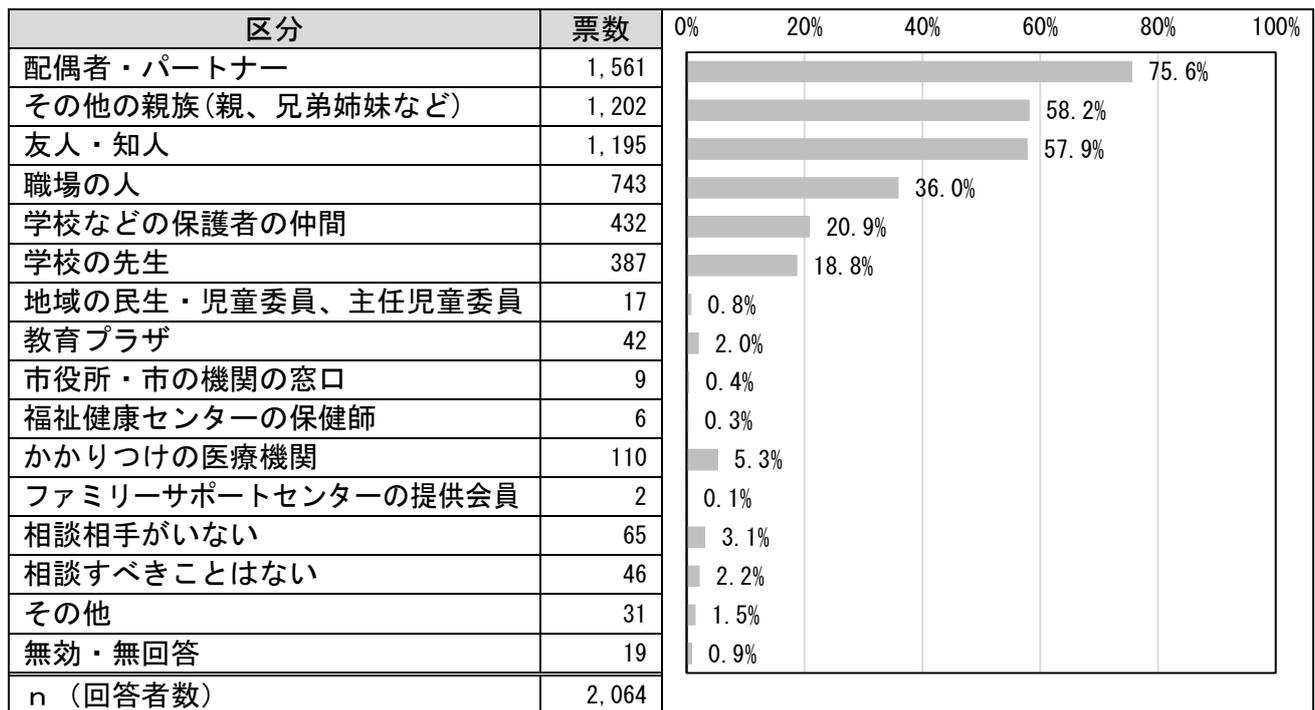
- ・子育てに関する悩みについては、「子どもの教育に関すること」が 53.7%と最も多く、次いで、「子育てに係る経済的負担が大きい」ことが 38.2%と続いています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
子どもの病気や発育・発達に関すること	530	25.7%					
子どもの教育に関すること	1,109	53.7%					
子どもとの接し方	469	22.7%					
話し相手や相談相手がない	45	2.2%					
他の子どもの保護者との付き合いが負担	214	10.4%					
仕事や自分のやりたいことが十分できない	377	18.3%					
子育てに関しての配偶者・パートナー、親（祖父母）との意見の相違	154	7.5%					
配偶者・パートナーが協力的ではない	163	7.9%					
子育てに係る経済的負担が大きい	788	38.2%					
自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの目が気になる	36	1.7%					
子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからない	56	2.7%					
子どもの病気や発育・発達に関すること	253	12.3%					
特にない	72	3.5%					
その他	14	0.7%					
無効・無回答	2,064						

(3)子育てや教育に関する悩みの相談相手(複数回答)

問 26 身近な地域で、子育てや教育に関する悩みを誰に相談していますか。あてはまるものすべてをお選びください。

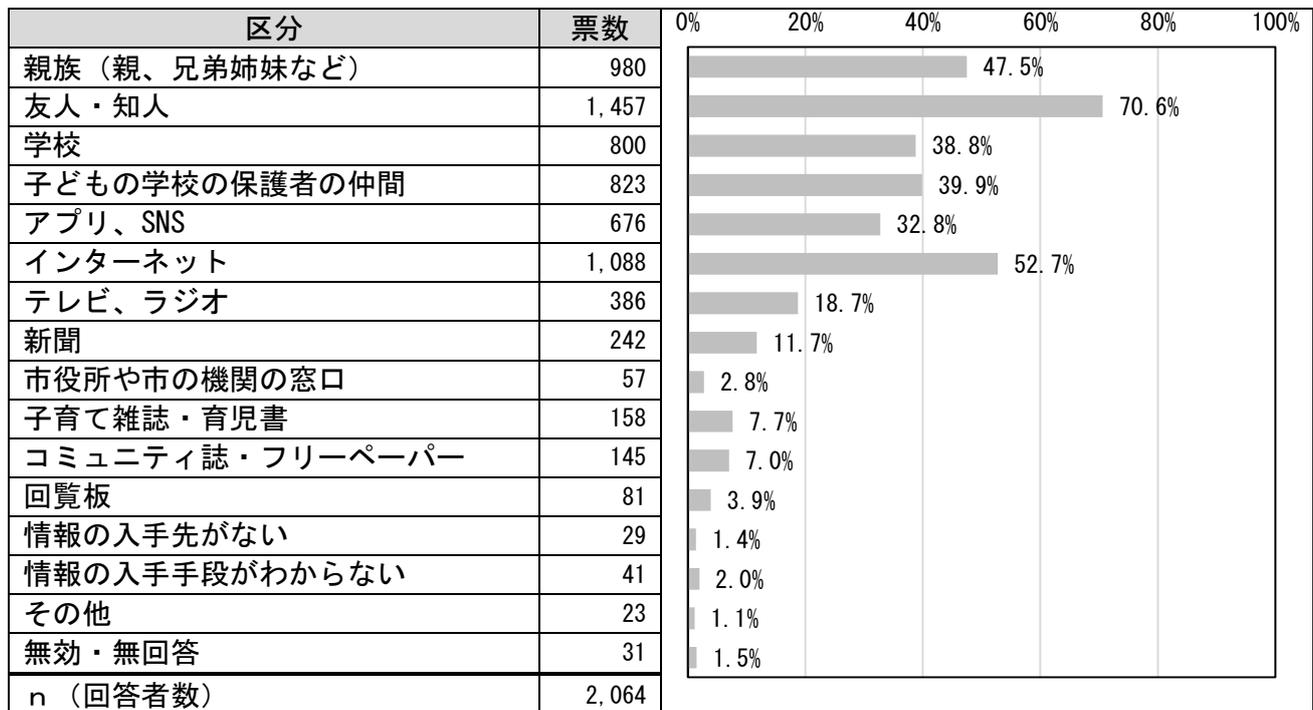
- ・子育てや教育に関する悩みの相談相手については、「配偶者・パートナー」75.6%、「その他の親族(親、兄弟姉妹など)」が58.2%「友人・知人」が57.9%と、身近な人への相談が上位を占めています。



(4)子育てに関する情報の入手先(複数回答)

問 27 子育てに関する情報をどのように得ていますか。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・子育てに関する情報の入手先は、「友人・知人」が70.6%と最も多くなっており、次いで「インターネット」が52.7%、「親族（親、兄弟姉妹など）」が47.5%となっています。



9 子育て支援

(1)もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うか(単一回答)

問 28 あなたは、もう一人子どもがほしい（産みたい）と思いますか。あてはまるもの1つをお選びください。また、「2. 条件が整えばほしい」を選んだ場合にはその条件を、「3. ほしくない」を選んだ場合にはその理由を、主なものを3つまでお選びください。

- ・もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うかどうかについて尋ねると、「ほしくない」との回答が59.4%、「条件が整えばほしい」が32.2%、「ほしい」が7.3%となりました。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ほしい	150	7.3%					
条件が整えばほしい	665	32.2%					
ほしくない	1,225	59.4%					
無効・無回答	24	1.2%					
n (回答者数)	2,064						

(2)もう一人子どもがほしい(産みたい)と思う条件(複数回答※3つまで)

問 28 もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うかで「2. 条件が整えばほしい」を選んだ方

- ・「条件が整えばほしいと」回答した方にその理由を尋ねると「経済的に余裕ができれば」が75.0%と最も多く、次いで「年齢が若ければ（体力があれば）」が69.0%、「子育てや教育に要する費用の負担が軽ければ」が52.2%となっています。

【条件】

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
経済的に余裕ができれば	499	75.0%					
年齢が若ければ（体力があれば）	459	69.0%					
仕事に復帰できる環境が整えば	37	5.6%					
職場の理解があれば	52	7.8%					
住宅事情がよければ	38	5.7%					
子育てや教育に要する費用の負担が軽ければ	347	52.2%					
配偶者・パートナーの協力があれば	134	20.2%					
社会環境がよければ	75	11.3%					
子どもの性別が分かれば	27	4.1%					
末子がもう少し大きくなれば	4	0.6%					
その他	23	3.5%					
無効・無回答	3	0.5%					
n (回答者数)	665						

(3)もう一人子どもがほしくない理由(複数回答※3 つまで)

問 28 もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うかで「3. ほしくない」を選んだ方

- ・一方で、「ほしくない」との回答者にその理由を尋ねると、「年齢的に厳しいため（体力がないため）」が72.1%、「経済的に厳しいため」が44.2%、「既に欲しかった人数の子どもがいるため」が36.2%と続いています。

【理由】

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
経済的に厳しいため	542	44.2%					
年齢的に厳しいため（体力がないため）	883	72.1%					
既に欲しかった人数の子どもがいるため	444	36.2%					
仕事を続けたいため	102	8.3%					
住宅環境が手狭であるため	57	4.7%					
兄弟姉妹との年齢が離れるため	54	4.4%					
子育てや教育に要する費用の負担が重い	315	25.7%					
自分や配偶者・パートナーとの時間を大切にしたい	45	3.7%					
配偶者・パートナーの協力が得られない	47	3.8%					
子育てに疲れたため	87	7.1%					
社会環境が良くない	64	5.2%					
その他	44	3.6%					
無効・無回答	8	0.7%					
n（回答者数）	1,225						

子どもの人数×もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うか

- ・子どもの人数別にみると、「1人」と回答している保護者は、「ほしい」「条件を整えたい」を合計すると53.2%となり、「ほしくない」との回答45.0%を上回ります。
- ・子どもの人数が増えると、「ほしくない」との回答が多くなっていきます。

上段：票数 下段：割合	もう一人子どもがほしいと思うか				
	n（回答者数）	ほしい	条件を整えたい	ほしくない	無効・無回答
全体	2,064	150	665	1,225	24
	100.0%	7.3%	32.2%	59.4%	1.2%
1人	511	69	203	230	9
	100.0%	13.5%	39.7%	45.0%	1.8%
2人	991	59	317	604	11
	100.0%	6.0%	32.0%	60.9%	1.1%
3人	458	18	119	318	3
	100.0%	3.9%	26.0%	69.4%	0.7%
4人	82	3	21	58	0
	100.0%	3.7%	25.6%	70.7%	0.0%
5人以上	20	1	4	15	0
	100.0%	5.0%	20.0%	75.0%	0.0%
無効・無回答	2	0	1	0	1
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%

母親の就労別×もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うか

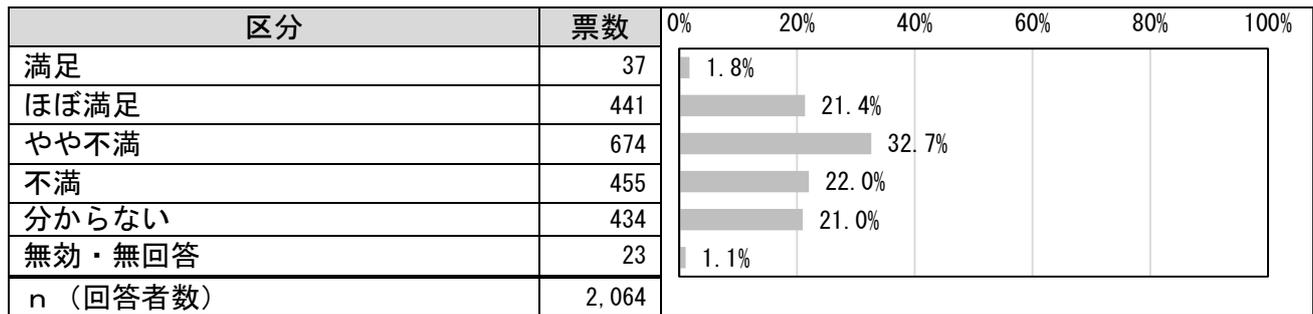
・母親の就労別では大きな差異はみられず、いずれにおいても「ほしくない」が高い結果となりました。

上段：票数 下段：割合	もう一人子どもがほしいと思うか				
	n (回答者数)	ほしい	条件が整えばほしい	ほしくない	無効・無回答
全体	2,064	150	665	1,225	24
	100.0%	7.3%	32.2%	59.4%	1.2%
フルタイム (就労中)	887	90	306	486	5
	100.0%	10.1%	34.5%	54.8%	0.6%
フルタイム (休業中)	29	2	11	16	0
	100.0%	6.9%	37.9%	55.2%	0.0%
パート・アル バイト等(就労中)	877	36	267	565	9
	100.0%	4.1%	30.4%	64.4%	1.0%
パート・アル バイト等(休業中)	16	1	3	12	0
	100.0%	6.3%	18.8%	75.0%	0.0%
無職 (就労経験あり)	220	19	67	129	5
	100.0%	8.6%	30.5%	58.6%	2.3%
無職 (就労経験なし)	16	2	3	10	1
	100.0%	12.5%	18.8%	62.5%	6.3%
無効・無回答	19	0	8	7	4
	100.0%	0.0%	42.1%	36.8%	21.1%

(4)行政が行っている子育て支援の満足度(単一回答)

問 29 現在、行政が行っている子育て支援について、どのように感じていますか。あてはまるもの1つをお選びください。

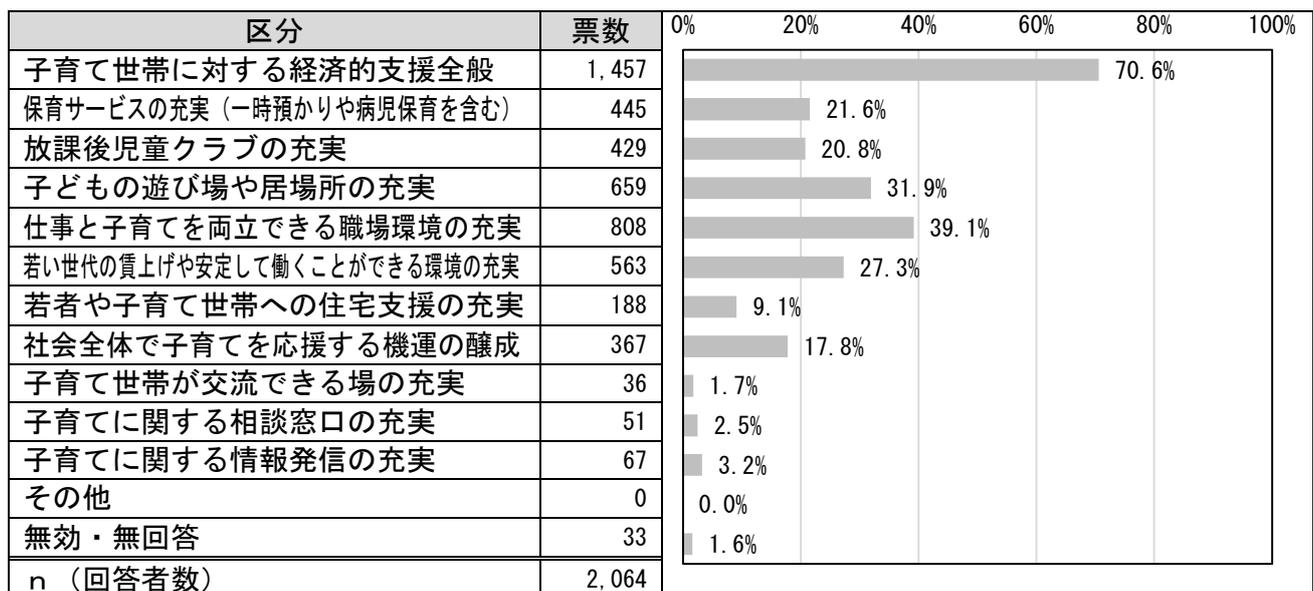
- ・行政が行っている子育て支援への満足度についてみると、「やや不満」が32.7%、「不満」が22.0%であり、合すると54.7%と半数を超えています。



(5)子育て支援策として重要な取組(複数回答※3 つまで)

問 30 あなたは子育て支援策として、どのような取組が重要だと考えますか。主なものを3つまでお選びください。

- ・子育て支援策として重要だと考える取組は、「子育て世帯に対する経済的支援全般」が最も多く70.6%を占めており、次いで「仕事と子育てを両立できる職場環境の充実」が39.1%、「子どもの遊び場や居場所の充実」が31.9%となっています。



10 まちへの親しみ・定住

(1)金沢市への愛着や親しみの有無(単一回答)

問 31 あなたは金沢市に愛着や親しみがありますか。

- ・金沢市への愛着や親しみについて、「ある」が50.6%、「どちらかといえばある」が39.0%となっており、金沢市への愛着や親しみを感じている方が89.6%となっています。
- ・一方、「どちらかといえはない」が7.8%、「ない」が2.2%となっており、金沢市への愛着や親しみを感じていない方が10.0%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ある	1,044	50.6%					
どちらかといえばある	804	39.0%					
どちらかといえはない	162	7.8%					
ない	46	2.2%					
無効・無回答	8	0.4%					
n (回答者数)	2,064						

(2)金沢市への愛着や親しみを感じるどころ(複数回答※3 つまで)

問 31 で金沢市への愛着や親しみの有無について「1・2」(ある)を選んだ方

問 32 金沢市のどのようなところに愛着や親しみを感じますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- ・金沢市へ愛着や親しみを感じるのは、「生まれ育ったまちだから」が最も多く53.9%となっており、次いで「安全・安心に暮らせる」が35.7%、「買い物や通勤・通学がしやすい」が30.8%、「親しい友人・知人がいる」が25.6%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
生まれ育ったまちだから	996	53.9%					
歴史や伝統を感じられる	383	20.7%					
まちなみや景観が美しい	328	17.7%					
文化・芸術活動が盛んである	315	17.0%					
まちに賑わいがある	75	4.1%					
自然が豊かである	353	19.1%					
安全・安心に暮らせる	659	35.7%					
買い物や通勤・通学がしやすい	570	30.8%					
図書館やスポーツ施設などの公共施設が充実している	222	12.0%					
地域コミュニティ活動が盛んである	21	1.1%					
子育てがしやすい	138	7.5%					
親しい友人・知人がいる	473	25.6%					
その他	30	1.6%					
無効・無回答	6	0.3%					
n (回答者数)	1,848						

(3)金沢市での定住希望(単一回答)

問 33 あなたはこれからも金沢市に住み続けたいと思いますか。

- ・金沢市へ住み続けたい希望については、「ぜひ住み続けたい（複数の生活拠点を持つ場合を含む）」が 44.8%、「可能であれば住み続けたい」が 35.4%、「一度離れてもいつかは戻ってきて住み続けたい」が 2.5%となっており、金沢市に住み続けたいと思っている方が 82.7%となっています。
- ・一方、「どちらかといえば住みたくない」が 3.1%、「住みたくない」が 0.9%となっており、金沢市に住み続けたくないと思っている方が 4.0%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ぜひ住み続けたい（複数の生活拠点を持つ場合を含む）	924	44.8%					
可能であれば住み続けたい	731	35.4%					
一度離れてもいつかは戻ってきて住み続けたい	51	2.5%					
どちらかといえば住みたくない	65	3.1%					
住みたくない	18	0.9%					
どちらともいえない・こだわりはない	265	12.8%					
無効・無回答	10	0.5%					
n（回答者数）	2,064						

(4)金沢市に住み続けたい理由(複数回答※2 つまで)

問 33 で金沢市での定住希望について「1~3」(住み続けたい)を選んだ方

問 34 金沢市に「住み続けたい」と思う理由は何ですか。あてはまるものを2 つまでお選びください。

- ・金沢市に「住み続けたい」と思う理由は、「生まれ育ったまち（住み慣れたまち）だから」が 55.8%と最も多くなっており、次いで「親族や友人・知人がいるから」が 31.4%、「働きたい（働いている）職場があるから」が 26.8%となっています。

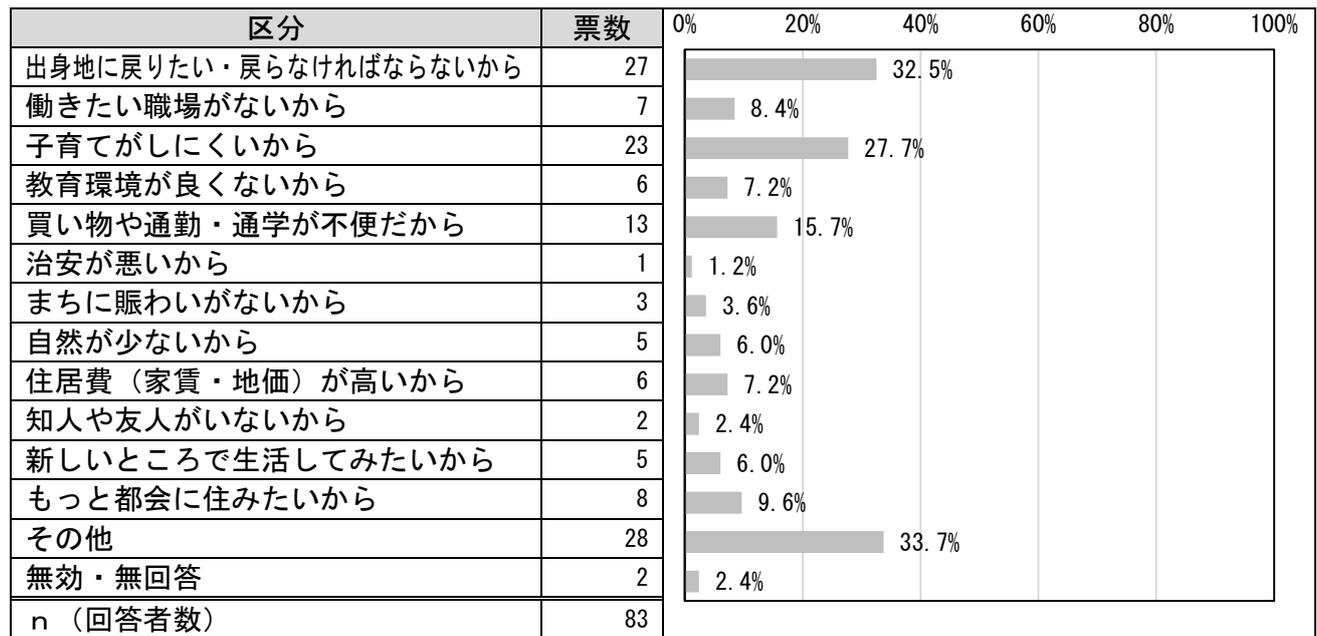
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
生まれ育ったまち（住み慣れたまち）だから	952	55.8%					
働きたい（働いている）職場があるから	457	26.8%					
子育てがしやすいから	122	7.2%					
教育環境が良いから	96	5.6%					
買い物や通勤・通学がしやすいから	393	23.0%					
治安が良いから	222	13.0%					
まちに賑わいがあるから	40	2.3%					
自然が豊かだから	127	7.4%					
住居費（家賃・地価）が安いから	17	1.0%					
親族や友人・知人がいるから	535	31.4%					
歴史や文化を感じられるから	88	5.2%					
その他	18	1.1%					
無効・無回答	6	0.4%					
n（回答者数）	1,706						

(5)金沢市に住み続けたくない理由(複数回答※2 つまで)

問 33 で金沢市での定住希望について「4・5」(住み続けたくない)を選んだ方

問 35 金沢市に「住み続けたくない」と思う理由は何ですか。あてはまるものを2 つまでお選びください。

- ・金沢市に「住み続けたくない」と思う理由は、「出身地に戻りたい・戻らなければならないから」が最も多く 32.5%を占めており、「子育てがしにくいから」が 27.7%となっています。



11 自由意見

(1)子どもがいて「良かった」と感じる事・「感動した」こと(自由記入)

問 36 子どもがいて「良かった」と感じる事・「感動した！」ことはどんなことですか。どんなことでも結構ですので、記入してください。

子どもの成長

- ・子どもたちの、ちょっとした成長を感じたとき。色々なことに一生懸命に頑張っているとき。
- ・子どもの出来ることが増えた時、思いやりを持って他人に優しく出来た時、それを当たり前に出来た時、「子育てが間違っていなかった！」と感じる。
- ・いつの間にか色々なことができるようになり、親を気遣ったりしてくれると成長したなぁと感動する。お母さん大好き、と言って抱きついてくると本当に幸せで子どもがいて良かったと感じる。
- ・自分が落ち込んでる時に寄り添ってくれ、「大丈夫だよ」と声掛けしてくれた時に子どもの成長を感じて、感動した。
- ・子どもの成長を感じられる時、1人の人間として行動できた時。わたし自身が熱で体調不良の時に、気遣いしてくれた事。ありがとうと声をかけてくれた時。

自分の成長

- ・子どもがいることでの気づきがあり、物の見方が変わったり、勉強したり、子どもと一緒に自分も成長していける。コミュニティが広がる。
- ・子どもと一緒に世代を越えた学びの追体験が出来ること。また愛情をかけたらかけた分、その気持ちも返ってくる。保護者も人間として、成長させてもらえること。
- ・子どもといると笑顔になれる。やりがいを感じる。育てている親の方が子どもからたくさんものを得られる。与えてもらっている。自分自身、人として成長させてもらっている。子育てこそ自分を人間として成長させてくれるものだと感じる。親への感謝の気持ちも湧く。

自分の親への感謝

- ・親になって、自分の親の苦労やありがたさがわかった。子ども達と過ごす時間は楽しい。
- ・子育てをするなかで親として色々な経験をしたり気持ちを味わうことで、私自身の子ども時代を振り返り、あの時きっと両親もこんな気持ちだったのかも想像し、親への感謝の気持ちが自然と湧くようになったこと。
- ・子どもができたことで改めて親族や周りの人へ感謝できるようになりました。

家族との絆

- ・家族がより強い絆で結ばれた。子どもの成長すべてに感動する。
- ・いつも喧嘩していても兄弟で兄弟を思う気持ちがわかる時が嬉しい。家族で夜ご飯を囲みながら1人1人が今日あったことを話してみんなで笑える団らんが嬉しい。
- ・助け合ったり、支え合ったり、相談し合ったり3人もいて大変だけど良かったなど実感しています！
- ・会話があると家族の和ができる。一緒に笑ったり、考えたり、共感できる時間があることは子どもがいたからこそと思う。

地域・人との交流

- ・子どもがいることでいろんな人と繋がって色々な関わりを持てること。
- ・子どもを通して幼稚園や学校などからいろんな事が知れる。気の合うママ友ができたので良かった。
- ・県外出身のため知り合いがいなかったが、子どもがいることによっていろんな方との関わりが増えた。
- ・子どもを通して友達が沢山出来た。
- ・子どもを通じて近所の人と、仲良くなれた。自分1人じゃないと思える。
- ・祖父母、保護者同士、地域など、色々な関わりの方や人が増えたこと。仕事だけではない暮らしの比重が多くなった。
- ・子どもの周囲で作られたコミュニティから得られる情報や知識があり、新たな発見があったりすること。

その他

- ・大人だけでは行かなかったであろう場所に行くようになること。レクリエーションや体験など、子どものためにやってみたことが自分も楽しかったこと。
- ・もう一度人生を楽しめている感じがする。スキーや水泳など、子どもの初めてのチャレンジを手伝っているとき、自分自身がもう一度チャレンジしているような懐かしさがある。仕事をしているときには感じられなかったような、生きることへの素朴な喜びを感じる。子どものために、健康で長生きしようと思うし、色々なところに出掛けて色々な経験をしたいこう考える。

(2)子育てで「つらい」と感じる事・「困ったこと」(自由記入)

問 37 子育てで「つらい」と感じる事・「困ったこと」はどんなことですか。どんなことでも結構ですので、記入してください。

しつけや生活習慣

- ・親がおもうようには中々いかず正解がすぐわからないので不安に思うことがある。
- ・思うようにいかない。自分の子どもの頃はこうじゃなかったのにとすることも。言うことを聞いてくれないと、子育ての仕方を間違えたのかなと思う。
- ・怒られ慣れた自分らの世代と怒られ慣れてない子どもらの世代の違いなのか、やりたいことはやってしまう。やりたくないことはやらない。
- ・YouTube やスマホゲームに依存傾向にあり困っている。

病気の時の対応

- ・子どもが高熱で、自分も体調を崩していて、旦那が出張で留守で、自分の親も高齢で頼れなく、どこに助けを求めて良いか分からなかった時。
- ・子どもが病気になり、仕事を休めず子どもに悲しい顔をされる、職場にも嫌な顔される、保育園にも嫌な顔される、祖母にも嫌な顔される。みんなの顔色をうかがいながらいたことが大変辛かった。
- ・よく熱を出していたときに、病児保育に預けたいのにいっぱいだったこと。近くに頼れる人はおらず、サポートが必要になるのは急な事が多く、ファミリーサポートサービスは予約対応なので、利用したくても利用できなかった。
- ・兄弟がいると風邪などの病気がうつりやすく、仕事を休まざるを得ないことが多くなる。仕事を休むと職場にも迷惑がかかるし、自分自身のために休みたいと思っても気が引ける。

子どもの交友関係

- ・子どもたちの学校での人間関係が上手くいかないとき、相手もあることなので悩む事がある。
- ・友達とトラブルを起こしたりクラスで問題を起こしたときはかなり悩みました。
- ・学校でトラブルを繰り返し、自分のしつけができて無いと感じた時。
- ・今年度から不登校気味になり、イヤイヤ学校に行く我が子に毎朝寄り添うこと。学校側から親身に歩み寄ってもらえる訳ではなく、スクールカウンセラーに相談しても進展なく、富樫教育プラザに出向き相談している。

自分の時間が無い・仕事との両立

- ・自分の時間がない。兄弟喧嘩がストレス。毎日家事に追われる。

- ・仕事と子育ての両立。早く帰れる時短勤務希望だが、できない事。
- ・子どもたちのことを優先したいと思っているが、自分のリフレッシュのための休みは何年もとってない。
- ・仕事で19時を過ぎてしまうことはあるが、学童が19時までしかやってないため、一度迎えに行き、寝かしつけてから再度職場に戻ることもある。

父親の育児不参加

- ・夫が仕事で忙しいと、休みは家事育児に協力してもらえない。互いにフルタイムの正職員なのに、不公平だと思ってしまう。
- ・主人が単身赴任中で、ワンオペで頑張らないといけないこと。
- ・夫婦間において、育児や教育への認識の違い、協力レベルの低さ、話し合いのできない関係性。

経済的負担

- ・切実に、金銭面で高校生になると医療費、塾や大学費用については不安です。
- ・上の子の私立高校学費が高すぎる。再来年には短大入学予定なので、もっと支援して欲しい。下の子も進学となると本当に大変。
- ・子どもの塾代や進学費用の貯蓄などの為に経済的にも余裕を作ろうと思うとフルタイムで働かなければならず、子どもとの時間や家庭の時間と仕事の時間の両立が大変。
- ・ひとり親（父子家庭）だが、年収が経済的支援基準値外のため支援がない状態です。実際には支援が必要と感じる場面が多々あります。ひとり親の経済的支援の額を見直して欲しいです。

公園・公共施設の充実

- ・家の前で遊んでいたら学校に電話がかかり、学校から家の前で遊ぶなと言われた。公園もそんなにない。ボールもつかえない。どうしたらよいか分からない。
- ・小学生4年以降の放課後、長期休暇の子どもの居場所がない。大人目の安心できる居場所や遊び場がほしい。
- ・雨の日に遊べる施設がまだ足りない。未就園児から小学校高学年までが遊べる施設がほしいです。

児童クラブの充実

- ・近隣学童の入所可能枠が少ないため、両親が就労していても子どもが学童に入れず子どもを見守れる環境下においてやれないことが困っています。
- ・学童保育に行けなくなった四年生からは、子どもだけの留守番では問題が多々生じて、子どもが生まれてからも正社員で頑張っていたが、とうとうパートになる決断をすることになった。共働きで子育てするのはこなすタスクが多過ぎて、時間が足りず親は疲弊すると思う。
- ・放課後学童の定員がいっぱいで入所できない可能性があり、入所できなければ就労できない。

発達・発育等

- ・子どもが反抗期に入った時にどの様に接したのが良いのか解らない。
- ・子どもに発達障害があり、些細なことでコミュニケーションが上手くとれなかったり、暴言や痛癢を起こした時はつらいです。
- ・思春期の対応や発達障がいがある子育ての家族(親、夫婦)の考え方の違いによる受容、理解が双方できなかつこと。
- ・生まれつきの病気と一生向き合って生きていかないといけない息子を、どう支えて応援していくか。成長と共に病気の悩みも大きくなっていくだろうし、見ていて辛い。
- ・障害児なので、ずっと赤ちゃんのようなのに、自分はどんどん歳をとっていくので、体力面でも精神面でもきつくなっています。

地域やPTA活動等への参加

- ・子ども会や学校役員が時間や精神的に負担。
- ・学校の育友会活動はとても負担です。
- ・仕事と子育て、地域の委員、PTA 活動などが重なると休みは休みではなくなり体力的にも精神的にもつらい。
- ・学校の PTA に参加することが、とても憂鬱です。PTA の集まりがあると子どもだけを家において学校に行かなくてはならないので、心配です。PTA って必要ですか。

ひとり親家庭

- ・ひとり親で経済的に苦しい時や自分の時間が確保できないとき。
- ・母子家庭だが、母親と一緒に住んでおり収入を超えるため、母子手当がもらえない。
- ・父親がいない事をどう思ってるのか気になるが、本人が言ってこないのでもいいのかなとふっと心配に思う事がある。

相談体制・情報発信

- ・子育てに関する情報があふれすぎていて、取捨選択するのが大変。
- ・小さい時は子育て支援や講座があるが、思春期などの親の情報やアドバイスをもらえる場がない。
- ・兄の不登校が大変でした。今はフリースクールに通っています。学校にも相談しましたし、療育センター、教育プラザ等にも相談に行きました。プロの人達がお互いに連絡して相談してくれればもっといい方法が沢山あったんじゃないかなと思っています。

(3)金沢市の子育ての環境や支援についての意見(自由記入)

問 38 最後に、金沢市の子育ての環境や支援についてご意見がございましたら、ご自由に記入してください。

経済的支援

- ・医療費を高校卒業まで無償化してほしい。
- ・給食費を無償化してほしい。
- ・経済的な子育て支援に年収の上限はなくしてほしい。
- ・就学援助金の範囲をもっと広げて欲しい。経済的に大変で入学時にお金がかかる。
- ・2人目や3人目の子供がいる家庭には経済的など手厚い支援はあるが、1人目から経済的にも支援をしないと誰も子供を産みたいと思わないと思う。
- ・多子世帯にもっと支援して欲しい。
- ・シングル家庭にもう少し支援がほしい。
- ・共働きでギリギリの生活をしている家庭も多いと思うので、ひとり親や非課税世帯だけではなく、平等に金銭面の支援が欲しい。
- ・教育に関してもっと助成してほしい。経済的な理由で選択肢が狭くなってしまうので。

放課後児童クラブ(学童保育)

- ・学童保育は重要なので、対象学年、対象時間の拡大、従事者の待遇改善も含め、さらなる支援が必要。
- ・学童の充実、学童の指導員の意識向上と質の高さをよくして欲しい。
- ・学童保育の環境(安全性)を改善して欲しい。
- ・高学年でも利用可能な学童を各学校に設けてほしい。
- ・夏休みなどの長期休みの期間だけ預けられる学童クラブを設けてほしい。
- ・学童保育の料金が低い。
- ・小学生の放課後の過ごし方を豊かにする取り組みをしてほしい。学童以外の選択肢があればいいなどと思う。

こどもの預かり

- ・病児保育を増やしてほしい。周りに頼れる人がいないととても働き辛い。
- ・児童館などで子供を預かってくれると、子供も楽しいし親も大変助かる。
- ・就活中に子供を預けられる場所、就職後預けられる場所、パートでも夏休み等の長期休みも預けられる場所が早急に欲しい。働きたくても働けない。
- ・どんな就労環境にでも対応出来るように、学童や病児保育などを拡充して頂けると有り難い。

遊び場

- ・小学生が体を動かして遊べる屋内施設がほしい。
- ・無料の屋内遊び場があると助かる。
- ・雨が多い町なのに室内で遊べる場所が少ない。駐車場があつて、遊具もある大きな公園なども少ない。もっと増やしてほしい。
- ・公園の整備をもう少ししてほしい。
- ・公園の遊具が撤去されたり、ボール遊びを禁止していたり、のびのびと遊べる場所が少ないのが気になる。
- ・子どもがのびのび遊べる場所やイベントを増やしてほしい。

情報提供・相談窓口

- ・金沢市役所の公式 LINE はあるものの、子育てに特化しているとはいえないと感じている。より相談しやすかったり、双方向性にコミュニケーションができる環境が整うと良い。
- ・子ども向けイベントの情報を入手しやすくしてもらいたい。
- ・発達障害のある子の受け入れ先、相談窓口の充実化を今以上に図ってもらいたい。
- ・学校以外で小学生以上の子どもについて気軽に相談できる場所があるといい。

その他

- ・不登校児の支援にもっと力を入れて欲しい。
- ・障害児に対する支援は色々あるが、障害児の親に対する支援がまだまだ少ない。
- ・子育て世代を支援するなら、子育て世代を支えてくれる人々（仕事を負担してくれる職場の人や子どもを預かってくれる保育士さんなど）にも支援がないと、安心して子育てする環境にならない。
- ・PTA活動の軽減、見直し。
- ・預けるなどの保育サービスの充実よりも、子どもと保護者が一緒に過ごして楽しいと思える環境をつくってほしい。

